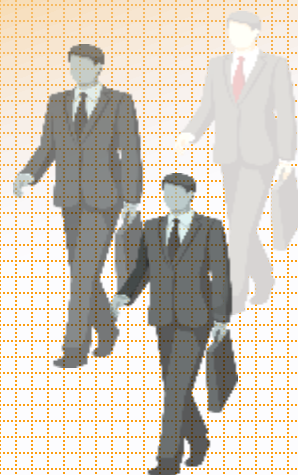


ICTカレッジ新入社員研修サービス

2021年度版



ライブ配信コース

『集合研修と同等の内容を、自宅でも、オフィスの自席でも』
をコンセプトに、ライブ配信コースを大幅に拡充

PickUP



ロジック・システム研修（Java）
の学びの仕掛けを刷新します！

Renewal

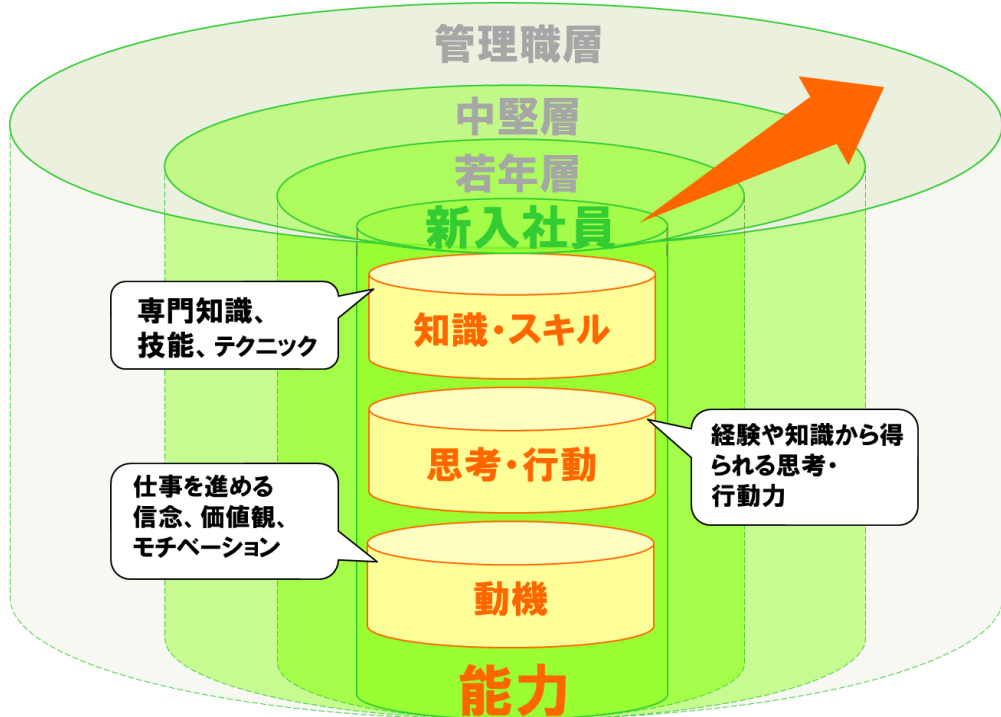
はじめに

現在のビジネス環境は、データとデジタル技術を活用して、製品やサービス、ビジネスモデルを変革する必要に迫られており、加えて働き方も大きく変化し、多様化しています。

ICTカレッジでは、このような変化・多様化に対応すべく、集合コースだけでなく、ライブ配信コースの充実も図っています。お客様には、「何を学ばせたいか」に加え「どのように学ばせたいか」もお選びいただくことができるようになります。

私たちは変化の激しい時代においても、新入社員が成長し続ける能力の核づくりをご支援します。

ICTカレッジの新入社員研修は、 プロフェッショナルとして成長し続ける人材の 核をつくります



新入社員時に向上させたい基本の3要素

動機

やる気の醸成
働く・仕事をする意味付け
役割の認識

思考・行動

深掘・熟考
常に前進
果敢に挑戦
己を把握、強みを伸長、弱みを克服

知識・スキル

ITスキル基礎
ビジネススキル基礎

ICTカレッジの新入社員研修では、
上記の**能力の核**の育成をサポートします。
また、新入社員研修後も現場の最前線で活躍できるよう、
長期的に階層別、職種別研修で**能力向上**を支援します。



ライブ配信コースの紹介

Pick
Up!

新型コロナウイルス感染症の拡大により、「ニューノーマル」と呼ばれる新しい時代に突入しました。

当社では、新しい時代の様々なお客様の様々な価値観やご要望にお応えするため、『**集合研修と同等の内容を、自宅でも、オフィスの自席でも**』をコンセプトに、ライブ配信コースを大幅に拡充し、新入社員研修においても、集合研修と同等の内容をライブ配信で提供いたします。

※ライブ配信を行っていないコースもあります。対象コースは9ページの「コース一覧」にてご確認ください。



特徴1：全国どこからでも受講できます

北海道から沖縄まで、講習会会場へ移動することなく受講できるので、交通費や宿泊費はもちろん、移動にかかる時間も節約できます。



特徴2：集合研修と同じようなコミュニケーションが可能です

講師の講義を聞くだけでなく、疑問点などあれば、その場でマイクやチャットで質問するなど、コミュニケーションを取りながらご受講いただけます。また、演習や実習も集合研修と同様に実施します。



特徴3：Webから受講状況を確認できます

育成担当者様にもWebにログインいただき、受講者の研修状況をタイムリーにご確認頂けます。

※事前にご予約ください。



特徴4：研修機器を提供します

ライブ配信コースをお申しいただいたお客様には、研修会場と同じ環境のPCを提供するため、研修の環境設定は不要です。

※研修機器を提供しないコースもあります。詳しくはICTカレッジWebサイトで公開予定です。合わせてご確認ください。

※ネットワーク環境はご用意ください。

※研修機器は申込者宛に発送いたします。

※受講者には、一人1台、研修用PCを該当コース受講期間中貸与します。



特徴5：自分のペースで予習・復習ができます

あらかじめ、実習環境が整ったPCが受講者の手元にあるため、リラックスした環境で、自身の都合のいいタイミングに予習・復習ができます。

受講された多くのお客様から、高い評価をいただいています！

一方的に講師の方が話すのではなく、こまめにグループワークを行ってくれたのでインプットのみで終わるのではなくアウトプットの時間があったのでとても分かりやすかった。

不明点や疑問点を画面共有やグループワークで解決できたため、理解が深まった。



新入社員の声

質問できる環境も整えられていたのでやりやすかったです。

ロジック・システム研修（Java）の学びの仕掛けを刷新します！

2020年度の状況を踏まえ、Z世代の新入社員に適した学び、ライブ配信や集合といった研修形態にとらわれない学びの仕掛けを提供します。

学びの仕掛け

- 各学習要素の目標を**スキル目標**と**知識目標**に分けて設定し、
「スキルはあるけど説明できない」「概念は理解できているけど実装できない」といった習得状況を明確化

※ロジック研修のロジック構築ラー®、およびシステム研修のプロジェクト疑似体験の取り組みは継続します。

※**スキル目標**: 実装力に紐づく目標
※**知識目標**: 概念の理解力や応用力に紐づく目標

利用目的がわかる**スキル目標**

【仕掛け①】
学習意欲を
高める

【仕掛け②】
目標到達度を見える化する

実習進捗から
スキル目標到達度を見える化

👍 スキル目標に対するレベル別の実習問題により、「どこまで解いたか」から受講者・講師・お客様がいつでもスキル習得状況を客観的に把握できる！

基本レベル サンプルを参考にして解く
(1問目)

定着レベル サンプルの本質を理解して解く
(2~複数問目)

実践レベル サンプルにない部分は調査して解く (オプション)

利用シーンをイメージできる**サンプル**

👍 学習内容が何に結びついているかが明確でストレスがない！

確認テスト（記述式）結果から
知識目標到達度を見える化

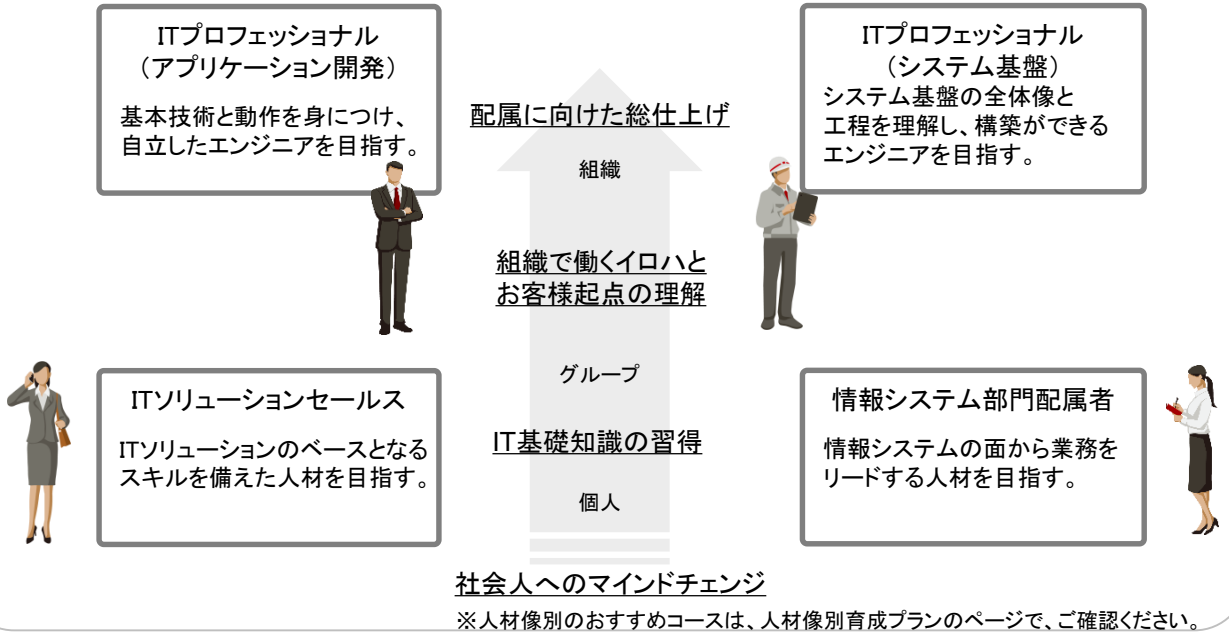
👍 言語化してアウトプットすることにより、「わかったつもり」で終わらせない！

能力の3要素を育てる取り組み

知識・スキル

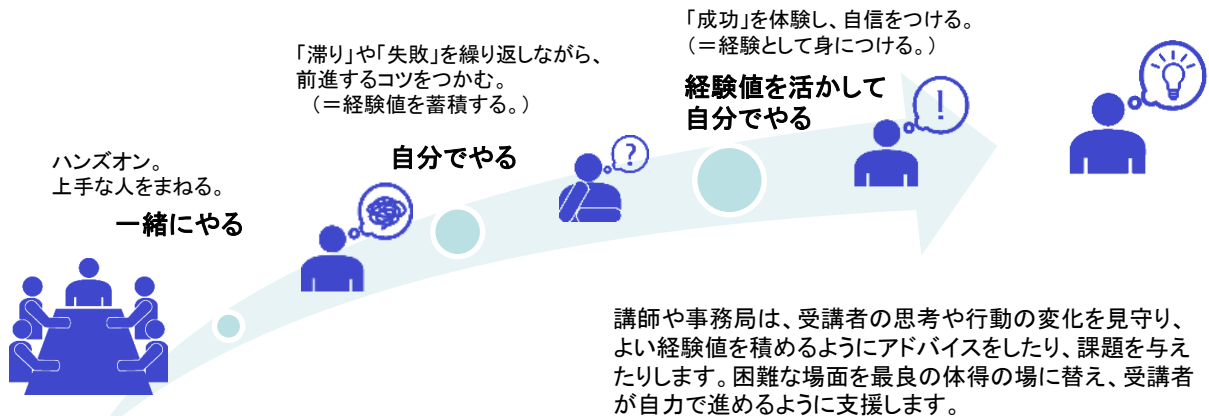
特長1. 人材像別カリキュラムで知識・スキルを積み上げる

自然な流れのカリキュラムでスキルを積み上げ



思考・行動

特長2. 業務を体験してコツをつかみ、経験を活かして挑戦する



動機

特長3. 仕事をする意味や価値を見出し、挑戦し続ける

学生から社会人への意識変革

「新入社員研修で学ぶこと」は、
単なる受講ではなく業務である。

- 研修会場 = 職場
- 研修 = 業務
- 講師 = 上司 (先輩)
- 受講者 = 部下 (後輩)

目指す人材像

- 信頼できるビジネスパーソン
- プロフェッショナルとして成長し続ける力を
備えた人材

仕事をする
意味とは？

会社からの
期待とは？

自分がやるべき
ことは？



成長を促す取り組み

※各コースで実施する取り組みは、ICTカレッジWebサイトで公開予定です。合わせてご確認ください。



スピーチトレーニング

決められた時間内に自分の考えを分かりやすく相手に伝えるトレーニングです。ビジネスシーンで人前で話す際の言葉遣い、立ち居振る舞いを意識しながら実践します。



ビジネススキルトレーニング

ビジネスパーソンの基本動作（マナーやコミュニケーション）の体得を目的に、研修で学んだスキルをケースに応じて実践します。



KPTによる振り返り

研修中の作業を振り返り、改善活動をするための取り組みです。グループで継続すること（Keep）、課題（Problem）、改善のために取り組むこと（Try）について日々話し合います。



リフレクションレビュー

実務に活用できるレベルでの知識の定着を目的とし、重点学習項目を自分の言葉で解説します。聞く側も、解説に対する意見を述べて自身と解説者の理解を深めます。



電子教材

「電子教材コース」では、コース教材の一部を電子（PDFファイル）化しています。電子教材は検索性がよく、タブレットで持ち運びも手軽です。



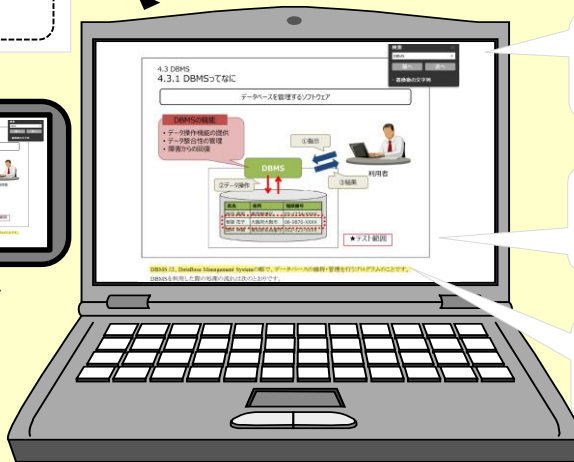
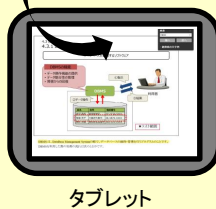
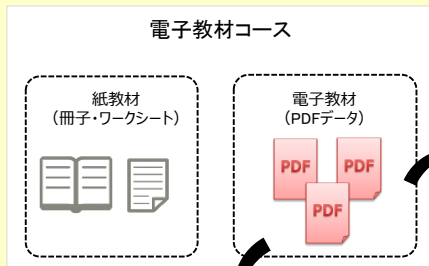
ビジネススキルチェック

研修開始時と終了時に、「ビジネススキルチェックシート」を使って自分のスキルを評価し、受講前後の比較によりビジネススキルに関する成長度合いを測ります。

【電子教材】 電子教材の活用方法

<電子教材のメリット>

- ✓ 電子教材は、タブレット（※1）や研修用PCの画面で閲覧でき、さらにメモの書き込みも可能です。
- ✓ コース開始3営業日前から閲覧ができます（※2）。
- ✓ キーワード検索が容易にできます。
- ✓ タブレットで手軽に持ち運びができます。
- ✓ テキストメモやハイライトを書き込めます。
- ✓ 書き込んだメモは、自宅でダウンロード（※2）して学習に活用できます。



キーワードの検索



メモの入力

★テスト範囲

ハイライトで目立たせる

DBMS は、DataBase Management System

手軽で
便利そう♪



※イメージです。

- ※1 電子教材コースの受講者には、一人1台、電子教材閲覧用タブレットを該当コース受講期間中貸与します。
- ※2 電子教材配信システムKnowledgeR@ckを使用します。

受講者の成長を把握するサービス

※各コースで実施する取り組みは、ICTカレッジWebサイトで公開予定です。合わせてご確認ください。



日報

受講者は毎夕、Webシステムで「新人研修日報」を入力し、受講の成果や所感を育成担当者様へ報告します。



理解度テスト

コース終了時にテストを実施し、知識の定着度を測定します。一部のコースでは研修の前後にテストを実施し、スキルの伸びを確認します



個人カルテ

理解度テストやスキル測定の結果、講師による評価コメントをまとめた「個人カルテ」を発行します。



成果発表会

受講者が研修の成果を発表する機会です。受講者自身で発表資料を作成し、発表方法を考え、研修の成果をプレゼンテーションします。

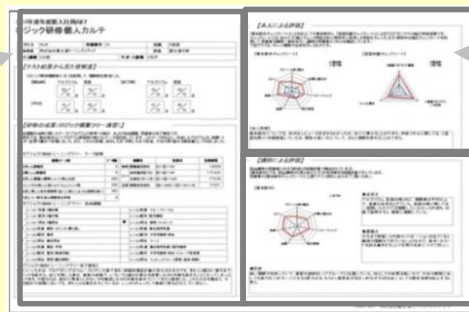
【個人カルテ】 研修全体の受講成果を確認

受講者一人ひとりの研修全体の受講成果をまとめた「個人カルテ」を発行します。配属時の育成方針の検討などにご活用ください。

<主な観点>

- ・研修実績 … 理解度テストやスキル測定の結果、課題進捗(定量評価)
- ・受講者による自己成長評価 … 基本動作および知識・技術の定着度実感(定量評価)、演習成果報告、意識の変化など(定性評価)
- ・講師による評価 … SE基本動作の発揮(定量評価)、成長点/課題点/育成における気づきや所感(定性評価)

研修実績



受講者による自己成長評価

講師による評価

※一例です

※個人カルテの発行条件はWebをご確認ください。
 ※個人カルテの内容はコースによって異なります。
 ※ライブ配信コースの個人カルテは、集合研修の内容と異なる場合もあります。

受講管理システム



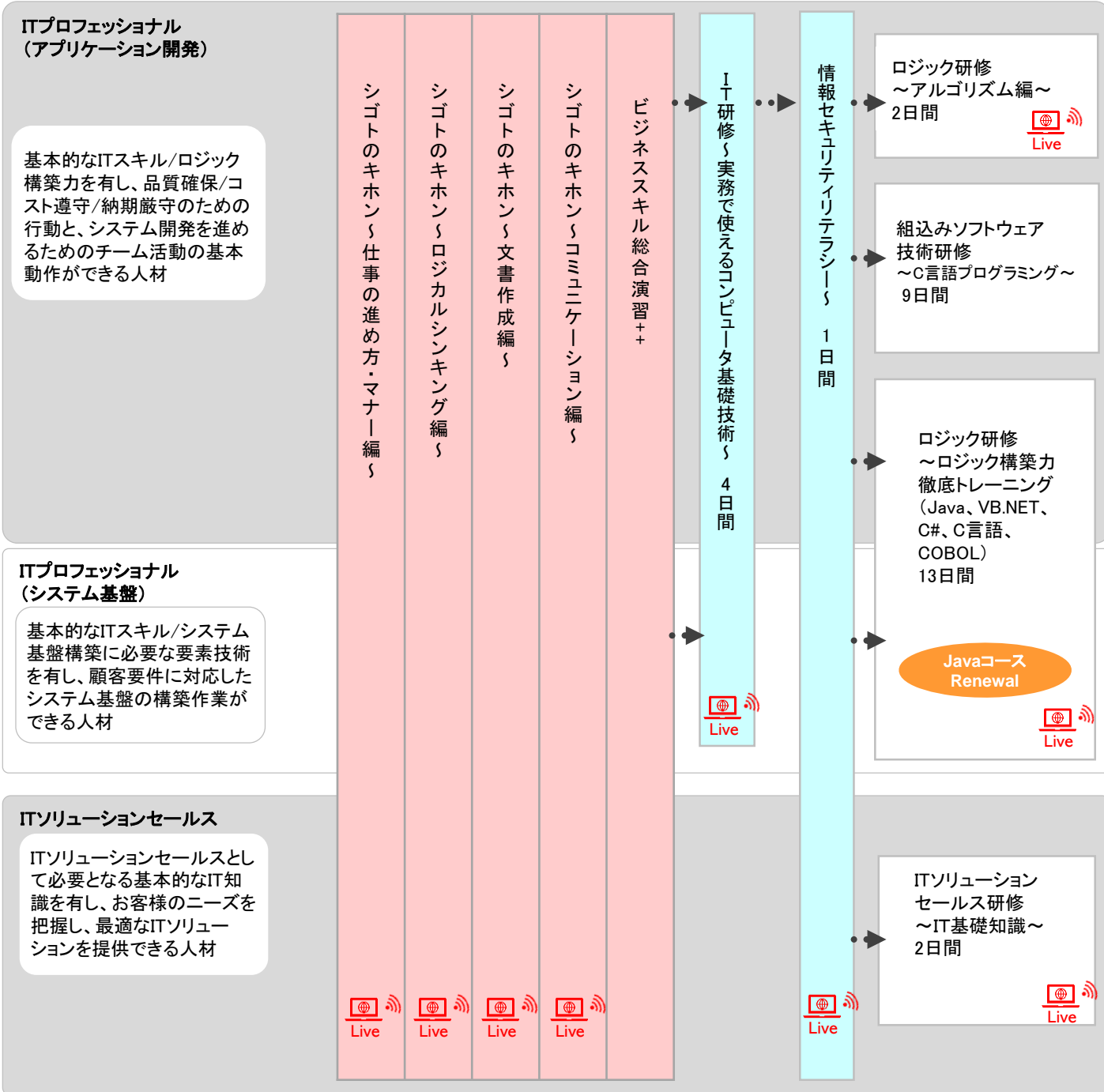
育成担当者様は専用のWebシステムで受講状況をリアルタイムに閲覧できます。また、受講実績データは、ダウンロードしてお役立てください。

<主な機能>



タイムカード	出勤・退勤の時刻が確認できます。
日報	受講者の日々の成果や所感が確認できます。育成担当者様から受講者へコメントを入力できます。受講者のフォローアップに活用できます。
理解度テスト	学習内容の理解度を測定するテストの結果が確認できます。 ※理解度テストを実施しないコースもあります。
受講報告書	各コースの終了時に、育成担当者様宛てに提出します。コース全体の成果や気づきが確認できます。

ICTカレッジ 2021年度 人材像別育成プラン

目指す人材像とそれに応じた育成プランをご用意しております。また、知識・スキルを自然な流れで積み上げて定着



開催日程は別紙「2021年度 新入社員研修開催スケジュール」をご確認ください。
 また、最新の日程は、ICTカレッジのWebサイトにて公開予定です。合わせてご確認ください。
<https://www.jisa.or.jp/Portals/0/resource/seminar/ictpro/shinjin/index.html>

 左記マークのあるコースは、ライブ配信のあるコースです。
 ロジック研修、システム研修は言語によって異なります。詳しくは9ページのコース一覧をご確認ください。

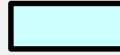
※ご希望に応じて各コースをカスタマイズし、「お客様個別開催研修」としてのご提供も可能です。
 お気軽にご相談ください。

させるための仕掛けを各コースに組み込んでいます。



【ビジネススキル共通】

各人材像で共通して、身に付けて頂きたいビジネススキルを学んで頂けるコースです。



【ITスキル共通(共通)】

各人材像に共通して身に付けて頂きたいITのベーススキルを学んで頂けるコースです。

組込みソフトウェア
技術研修
～組み込みプログラミング～
10日間

組込みソフトウェア
技術研修
～開発体験～
14日間

プロジェクトの
キホン
2日間

システム研修
～システム開発プロ
ジェクト疑似体験
(Java、VB.NET、C#、
C言語、COBOL)
16日間



Javaコース
Renewal

ITプロへの第
一步～最新技
術動向とビジネ
ス作法～
2日間

はじめての
アジャイル開発
3日間

システム基盤
構築研修
16日間



ITソリューション
セールス研修
～ソリューションプロセ
スの理解～
10日間



ITソリューション
セールス研修
～提案実践～
5日間



ライブコースあり

※ご要望に応じて各コースをカスタマイズし、「お客様別個別開催研修」としてのご提供も可能です。お気軽にご相談ください。

コース一覧

コースコード/価格(税込)						コース名	日数
電子教材		紙教材		ライブ NEW			
会員価格	非会員価格	会員価格	非会員価格	会員価格	非会員価格		
—		NAI21L		NAI21R		シゴトのキホン～仕事の進め方・マナー編～	1
		26,400円	33,000円	26,400円	33,000円		
—		NAI22L		NAI22R		シゴトのキホン～ロジカルシンキング編～	1
		26,400円	33,000円	26,400円	33,000円		
—		NAI23L		NAI23R		シゴトのキホン～文書作成編～	1
		26,400円	33,000円	26,400円	33,000円		
—		NAI24L		NAI24R		シゴトのキホン～コミュニケーション編～	1
		26,400円	33,000円	26,400円	33,000円		
—		NAI29L		—		ビジネススキル総合演習++	2
		52,800円	66,000円				
—		NAI28L		—		プロジェクトのキホン	2
		52,800円	66,000円				
NBIO4L		NBI13L		NBIO4R		IT研修～実務で使えるコンピュータ基礎技術～	4
82,720円	103,400円	87,120円	108,900円	82,720円	103,400円		
NSA01L		NSA02L		NSA01R		情報セキュリティリテラシー	1
26,400円	33,000円	28,160円	35,200円	26,400円	33,000円		
NBI02L		NBI14L		NBI02R		ロジック研修～アルゴリズム編～	2
41,360円	51,700円	45,760円	57,200円	41,360円	51,700円		
NUL72L		NUL73L		NUL72R		【新版】ロジック研修(Java)～ロジック構築力徹底トレーニング	13
263,120円	328,900円	276,320円	345,400円	263,120円	328,900円		
NUL52L		NUL53L		—		ロジック研修(VB.NET)～ロジック構築力徹底トレーニング	13
263,120円	328,900円	276,320円	345,400円				
NUL58L		NUL59L		NUL58R		ロジック研修(C#)～ロジック構築力徹底トレーニング	13
263,120円	328,900円	276,320円	345,400円	263,120円	328,900円		
NUL54L		NUL55L		—		ロジック研修(C言語)～ロジック構築力徹底トレーニング	13
263,120円	328,900円	276,320円	345,400円				
NUL56L		NUL57L		—		ロジック研修(COBOL)～ロジック構築力徹底トレーニング	13
263,120円	328,900円	276,320円	345,400円				
NUL74L		NUL75L		NUL74R		【新版】システム研修(Java)～システム開発プロジェクト疑似体験	16
337,920円	422,400円	351,120円	438,900円	337,920円	422,400円		
NUL62L		NUL63L		—		システム研修(VB.NET)～システム開発プロジェクト疑似体験	16
337,920円	422,400円	351,120円	438,900円				
NUL68L		NUL69L		NUL68R		システム研修(C#)～システム開発プロジェクト疑似体験	16
337,920円	422,400円	351,120円	438,900円	337,920円	422,400円		
NBI17L		NBI18L		NBI17R		ITプロへの第一歩～最新技術動向とビジネス作法～	2
52,800円	66,000円	57,200円	71,500円	52,800円	66,000円		
NUL80L		NUL81L		—		はじめてのアジャイル開発	3
61,600円	77,000円	63,360円	79,200円				
NFE08L		NFE09L		—		組込みソフトウェア技術研修～C言語プログラミング～	9
182,160円	227,700円	186,560円	233,200円				
NFE10L		NFE11L		—		組込みソフトウェア技術研修～組込みプログラミング～	10
202,400円	253,000円	215,600円	269,500円				
NFE12L		NFE13L		—		組込みソフトウェア技術研修～開発体験～	14
295,680円	369,600円	304,480円	380,600円				
NBI15L		NBI16L		NBI15R		システム基盤構築研修	16
337,920円	422,400円	351,120円	438,900円	337,920円	422,400円		
—		NBI12L		NBI12R		ITソリューションセールス研修～IT基礎知識～	2
		47,520円	59,400円	47,520円	59,400円		
—		NAR09L		NAR09R		ITソリューションセールス研修～ソリューションプロセスの理解～	10
		220,000円	275,000円	220,000円	275,000円		
—		NAR08L		NAR08R		ITソリューションセールス研修～提案実践～	5
		110,000円	137,500円	110,000円	137,500円		

◆ビジネススキル共通

新入社員のためのシゴトのキホン～仕事の進め方・マナー編～				紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NAI21L	
期間	1日			
コース概要	PLAN・DO・CHECK・ACT、QCD(品質・コスト・納期)、報告・連絡・相談を中心に、正確な仕事と作業の進め方を学習します。また、業務に不可欠な基本動作(あいさつ、電話対応、名刺交換など)をロールプレイや演習を通じて実践します。			
到達目標	本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。 1. 仕事の基本とマナーの必要性を説明できる。 2. 仕事のプロセスを理解し、自ら実践できる。 3. あいさつ、電話対応、名刺交換などのマナーを実践できる。			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 仕事とは 【アイスブレイク】 社会人として働く 第2章 仕事のプロセスと進め方 【演習】メモを取る 【演習】仕事を進める	第3章 ビジネスマナー 【演習】敬語を確認する 【演習】敬語・慣用表現を身につける 【演習】電話対応する 【演習】名刺交換を行う	
注意事項	本コースは紙教材コースのみです。電子教材コースはありません。			

NEW 【ライブ】新入社員のためのシゴトのキホン～仕事の進め方・マナー編～				ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NAI21R	
期間	1日			
コース概要	PLAN・DO・CHECK・ACT、QCD(品質・コスト・納期)、報告・連絡・相談を中心に、正確な仕事と作業の進め方を学習します。また、業務に不可欠な基本動作(あいさつ、電話対応、名刺交換など)をロールプレイや演習を通じて実践します。			
到達目標	本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。 1. 仕事の基本とマナーの必要性を説明できる。 2. 仕事のプロセスを理解し、自ら実践できる。 3. あいさつ、電話対応、名刺交換などのマナーを実践できる。			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 仕事とは 【アイスブレイク】 社会人として働く 第2章 仕事のプロセスと進め方 【演習】メモを取る 【演習】仕事を進める	第3章 ビジネスマナー 【演習】敬語を確認する 【演習】敬語・慣用表現を身につける 【演習】電話対応する 【演習】名刺交換を行う	
注意事項	本コースの教材はすべてデータで提供します。紙教材は一切使用しません。 本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。			

◆ビジネススキル共通

新入社員のためのシゴトのキホン～ロジカルシンキング編～				紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NAI22L	
期間	1日			
コース概要	情報を整理し筋道を立てて考えるためのロジカルシンキングの基本を学習します。基本的な考え方とツール(ロジックツリー、ピラミッドストラクチャー、マトリックス)を理解し、仕事へ活用できるスキルを身につけます。			
到達目標	本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングの基本の考え方を説明できる。 2. ロジカルシンキングのツールを使用できる。 3. ロジカルシンキングが仕事のどのような場面で適応できるか理解できる。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 ロジカルシンキングとは 第2章 ロジカルシンキングで基本となる考え方 【演習】結論を伝える 【演習】モレなく、ダブリなく、分類する	第3章 ロジカルシンキングのツール 【演習】網羅的に深く考える 【演習】主張と論拠と情報の因果関係を明確にする 第4章 仕事で活用するには	
注意事項	本コースは紙教材コースのみです。電子教材コースはありません。			

NEW 【ライブ】新入社員のためのシゴトのキホン～ロジカルシンキング編～				ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NAI22R	
期間	1日			
コース概要	情報を整理し筋道を立てて考えるためのロジカルシンキングの基本を学習します。基本的な考え方とツール(ロジックツリー、ピラミッドストラクチャー、マトリックス)を理解し、仕事へ活用できるスキルを身につけます。			
到達目標	本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングの基本の考え方を説明できる。 2. ロジカルシンキングのツールを使用できる。 3. ロジカルシンキングが仕事のどのような場面で適応できるか理解できる。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 ロジカルシンキングとは 第2章 ロジカルシンキングで基本となる考え方 【演習】結論を伝える 【演習】モレなく、ダブリなく、分類する	第3章 ロジカルシンキングのツール 【演習】網羅的に深く考える 【演習】主張と論拠と情報の因果関係を明確にする 第4章 仕事で活用するには	
注意事項	本コースの教材はすべてデータで提供します。紙教材は一切使用しません。 本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。			

◆ビジネススキル共通

新入社員のためのシゴトのキホン～文書作成編～				紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NAI23L	
期間	1日			
コース概要	相手に伝わる分かりやすい文書作成方法を学習します。ビジネスシーンを想定したe-mail・報告書・議事録の作成演習を通じて、学習内容の定着を図ります。			
到達目標	本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。 1. 相手に伝わる分かりやすい文書を作成できる。 2. 基本的なビジネス文書(e-mail、報告書、議事録)を作成できる。			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 ビジネスシーンで求められる文書 第2章 文書作成のプロセス 第3章 正しく分かりやすい文章の作成	第4章 代表的なビジネス文書の作成 【演習】e-mail作成演習 【演習】報告書作成演習 【演習】議事録作成演習	
注意事項	本コースは紙教材コースのみです。電子教材コースはありません。			

NEW 【ライブ】新入社員のためのシゴトのキホン～文書作成編～				ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NAI23R	
期間	1日			
コース概要	相手に伝わる分かりやすい文書作成方法を学習します。ビジネスシーンを想定したe-mail・報告書・議事録の作成演習を通じて、学習内容の定着を図ります。			
到達目標	本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。 1. 相手に伝わる分かりやすい文書を作成できる。 2. 基本的なビジネス文書(e-mail、報告書、議事録)を作成できる。			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 ビジネスシーンで求められる文書 第2章 文書作成のプロセス 第3章 正しく分かりやすい文章の作成	第4章 代表的なビジネス文書の作成 【演習】e-mail作成演習 【演習】報告書作成演習 【演習】議事録作成演習	
注意事項	本コースの教材はすべてデータで提供します。紙教材は一切使用しません。 本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。			

◆ビジネススキル共通

新入社員のためのシゴトのキホン～コミュニケーション編～				紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NAI24L	
期間	1日			
コース概要	ビジネスでは、目的をきちんと把握した上で、相手を理解し伝えるコミュニケーションが求められます。コミュニケーションを「理解する」と「伝える」の要素に分けて学習します。			
到達目標	本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。 1. 相手を理解するために聴くことができる。 2. 相手に伝えるためにシナリオを整理できる。 3. 相手に分かりやすく伝える方法を実践できる。			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 仕事で求められるコミュニケーション 第2章 相手を理解する 【演習】相手を理解する姿勢の違いを体験する	第3章 相手に伝える 【演習】仕事の状況を上司に報告する 【演習】お客様にプレゼンテーションする 【総合演習】お客様への案内と質疑応答を行う	
注意事項	本コースは紙教材コースのみです。電子教材コースはありません。			

NEW 【ライブ】新入社員のためのシゴトのキホン～コミュニケーション編～				ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NAI24R	
期間	1日			
コース概要	ビジネスでは、目的をきちんと把握した上で、相手を理解し伝えるコミュニケーションが求められます。コミュニケーションを「理解する」と「伝える」の要素に分けて学習します。			
到達目標	本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。 1. 相手を理解するために聴くことができる。 2. 相手に伝えるためにシナリオを整理できる。 3. 相手に分かりやすく伝える方法を実践できる。			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 仕事で求められるコミュニケーション 第2章 相手を理解する 【演習】相手を理解する姿勢の違いを体験する	第3章 相手に伝える 【演習】仕事の状況を上司に報告する 【演習】お客様にプレゼンテーションする 【総合演習】お客様への案内と質疑応答を行う	
注意事項	本コースの教材はすべてデータで提供します。紙教材は一切使用しません。 本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。			

◆ビジネススキル共通

ビジネススキル総合演習＋＋			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NAI29L
期間	2日		
コース概要	緊張感のあるビジネスの現場を再現した総合演習で、仕事を疑似体験し、ここまで学習したビジネススキルを総合的に実践します。演習では、「知っていること」と「できること」の違いを体感します。試行錯誤し繰り返し実践することで、PDCAそのものを深掘りし、自分に合う方法で深く振り返ることの重要性を認識します。また、効果的なフィードバックとは何かを理解し、演習を通じフィードバックを相互に繰り返し、今後の成長のための目的、目標を明確化します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネススキルをPDCAを回しながら実践し、自分の行動特性とビジネススキルの現状レベルを把握する。 2. PDCAの有効性を実感し、自分なりの回し方のコツを習得する。 3. 相手に必要と思われるフィードバックを実施し、成長の手助けができる。 4. フィードバックを受け止め、効果的に自分の成長に活かすことができる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてのビジネススキルの発揮 ・今までの自分とこれからの目的、目標 ・PDCAとフィードバック <p>総合演習の説明</p> <p>【演習】ビジネス総合演習</p>	<p>【演習】ビジネス総合演習(つづき)</p> <p>フィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習中のフィードバック状況 ・成長のためのフィードバックとは ・フィードバックの種類(評価、指導、感謝) ・自分だけが見えていない盲点 ・フィードバックのポイント、実践 ・問いの技術 <p>【演習】ビジネス総合演習(つづき)</p> <p>1日の振り返り</p>
	2日目	<p>フィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィードバック分類 ・問いの技術 <p>【演習】ビジネス総合演習(つづき)</p>	<p>【演習】ビジネス総合演習(つづき)</p> <p>【演習】成長のための振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネススキルの振り返り ・フィードバックの振り返り ・主体性発揮の状況、自己の目標の振り返り ・アクションプランシートの作成
注意事項	本コースは紙教材コースのみです。電子教材コースはありません。		

◆ビジネススキル共通

新入社員のためのプロジェクトのキホン			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NAI28L
期間	2日		
コース概要	モノ作りをとおして、プロジェクトを円滑に進めるために必要な要素(品質、コスト、納期、チームワーク)について学習します。また、ビジネスにおけるステークホルダーを意識し、お客様起点で物事をとらえることの重要性を学習します		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクト活動の流れを説明できる。 2. プロジェクト活動に必要な仕事の進め方を理解する。 3. プロジェクト活動に必要なチームワークを身につける。 4. お客様起点の重要性を説明できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	第1章 プロジェクト活動の流れ 第2章 プロジェクトメンバーとしての心得 第3章 お客様起点 【演習説明】	【演習説明】(つづき) 【演習1-1】プロジェクト計画書の作成 【演習1-2】中間上司レビュー 【演習1-3】最終上司報告 【演習1-4】振り返り
	2日目	【演習2-1】ヒアリング項目の検討 【演習2-2】顧客ヒアリング 【演習2-3】振り返り 【演習3-1】設計図の作成 【演習3-2】顧客報告 【演習3-3】振り返り	【演習4-1】模型の作成 【演習4-2】顧客模型レビュー 【演習4-3】振り返り 【演習5-1】提案コンペ準備 【演習5-2】提案コンペ説明 【演習5-3】提案コンペ 【演習5-4】模型見学 【演習5-5】評価集計 【演習6-1】振り返り
注意事項	本コースは紙教材コースのみです。電子教材コースはありません。		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのIT研修～実務で使えるコンピュータ基礎技術～			電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NBI04L
期間	4日		
コース概要	これから情報システムに関わる新入社員にとって、情報システムの構成要素や原理原則の正しい理解は必要不可欠です。本コースでは、情報システムで利用されている各種技術(情報を処理する仕組み、伝達する仕組み、蓄積する仕組み)について学習します。また、学習した内容を活用して、世の中で利用されているさまざまな情報システムの構成を考察し、情報システム全体の構成をイメージすることで、知識の定着を図ります。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報システムにおけるシステム構成やシステムライフサイクル(企画、要件定義、設計、開発、テスト、運用、廃棄)、システム開発手法について説明できる。 2. コンピュータに必要なハードウェアとソフトウェアの役割と、コンピュータの5大機能(装置)について説明できる。 3. OSの役割や内部の仕組み(プロセス管理、メモリ管理、入出力管理など)について説明できる。 4. ネットワーク技術の概要を理解し、コンピュータ同士の通信を実現するための機器や仕様について説明できる。 5. データベース技術の概要とDBMSの役割を理解し、効率的なデータ検索・更新のために必要な事項について説明できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	第1章 情報技術と情報システム 第2章 情報システムで扱う情報	第3章 情報を処理する仕組み (コンピュータ)
	2日目	第3章 情報を処理する仕組み (コンピュータ)(つづき)	第4章 情報を伝達する仕組み (ネットワーク)
	3日目	第4章 情報を伝達する仕組み (ネットワーク)(つづき)	第5章 情報を蓄積する仕組み (データベース)
	4日目	第6章 情報システムの全体像を知る	総合演習・研修の振り返り
注意事項	本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NBI13L」でお申し込みください。		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのIT研修～実務で使えるコンピュータ基礎技術～			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NBI13L
期間	4日		
コース概要	これから情報システムに関わる新入社員にとって、情報システムの構成要素や原理原則の正しい理解は必要不可欠です。本コースでは、情報システムで利用されている各種技術(情報を処理する仕組み、伝達する仕組み、蓄積する仕組み)について学習します。また、学習した内容を活用して、世の中で利用されているさまざまな情報システムの構成を考察し、情報システム全体の構成をイメージすることで、知識の定着を図ります。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報システムにおけるシステム構成やシステムライフサイクル(企画、要件定義、設計、開発、テスト、運用、廃棄)、システム開発手法について説明できる。 2. コンピュータに必要なハードウェアとソフトウェアの役割と、コンピュータの5大機能(装置)について説明できる。 3. OSの役割や内部の仕組み(プロセス管理、メモリ管理、入出力管理など)について説明できる。 4. ネットワーク技術の概要を理解し、コンピュータ同士の通信を実現するための機器や仕様について説明できる。 5. データベース技術の概要とDBMSの役割を理解し、効率的なデータ検索・更新のために必要な事項について説明できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	第1章 情報技術と情報システム 第2章 情報システムで扱う情報	第3章 情報を処理する仕組み (コンピュータ)
	2日目	第3章 情報を処理する仕組み (コンピュータ)(つづき)	第4章 情報を伝達する仕組み (ネットワーク)
	3日目	第4章 情報を伝達する仕組み (ネットワーク)(つづき)	第5章 情報を蓄積する仕組み (データベース)
	4日目	第6章 情報システムの全体像を知る	総合演習・研修の振り返り
注意事項	本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NBI04L」でお申し込みください。		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

NEW		【ライブ】新入社員のためのIT研修～実務で使えるコンピュータ基礎技術～		ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NBI04R	
期間	4日			
コース概要	これから情報システムに関わる新入社員にとって、情報システムの構成要素や原理原則の正しい理解は必要不可欠です。本コースでは、情報システムで利用されている各種技術(情報を処理する仕組み、伝達する仕組み、蓄積する仕組み)について学習します。また、学習した内容を活用して、世の中で利用されているさまざまな情報システムの構成を考察し、情報システム全体の構成をイメージすることで、知識の定着を図ります。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報システムにおけるシステム構成やシステムライフサイクル(企画、要件定義、設計、開発、テスト、運用、廃棄)、システム開発手法について説明できる。 2. コンピュータに必要なハードウェアとソフトウェアの役割と、コンピュータの5大機能(装置)について説明できる。 3. OSの役割や内部の仕組み(プロセス管理、メモリ管理、入出力管理など)について説明できる。 4. ネットワーク技術の概要を理解し、コンピュータ同士の通信を実現するための機器や仕様について説明できる。 5. データベース技術の概要とDBMSの役割を理解し、効率的なデータ検索・更新のために必要な事項について説明できる。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 情報技術と情報システム 第2章 情報システムで扱う情報	第3章 情報を処理する仕組み (コンピュータ)	
	2日目	第3章 情報を処理する仕組み (コンピュータ)(つづき)	第4章 情報を伝達する仕組み (ネットワーク)	
	3日目	第4章 情報を伝達する仕組み (ネットワーク)(つづき)	第5章 情報を蓄積する仕組み (データベース)	
	4日目	第6章 情報システムの全体像を知る	総合演習・研修の振り返り	
注意事項	<p>本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。集合でのご受講は、紙教材コースコード「NBI13L」、または電子教材コースコード「NBI04L」でお申し込みください。</p> <p>本コースは全教材において、電子教材を使用します。紙教材は使用しません。</p>			

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のための情報セキュリティリテラシー			電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NSA01L
期間	1日		
コース概要	信頼される安全な情報管理やサービス提供の実現に向けて必要となる情報セキュリティ分野の基本知識について、組織の一員としてのリスクをベースにしながら体系的に講義と演習を通じて学習します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人から組織までの情報セキュリティを取り巻くリスクの現状を確認し、対策の必要性および重要性を理解する。 2. 日常業務で一般的に必要な情報セキュリティ対策に体系的に取り組む上で基本となる、用語の定義やその対策の進め方について把握する。 3. 組織の情報セキュリティ製品・サービス群の全体像と分類構成を認識する。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	<p>第1章 情報セキュリティの重要性をしっかりと理解しよう！</p> <p>【演習】自分自身の情報セキュリティリスクを考えてみよう！</p> <p>【演習】企業・組織の情報セキュリティリスクを考えてみよう！</p> <p>【演習】普段の情報セキュリティ対策活動を振り返ってみよう</p>	<p>第2章 これからの立場と情報セキュリティの関係を考えよう！</p> <p>【演習】普段の生活で見直すべき行動を振り返ろう！</p> <p>【演習】標的型攻撃の振る舞いをみてみよう！</p> <p>第3章 日頃から情報セキュリティ対策を意識しよう！</p> <p>【演習】基本！パスワードを設計してみよう！</p> <p>【演習】どのようなソリューションがあるか調べてみよう！</p>
注意事項	本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NSA02L」でお申し込みください。		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のための情報セキュリティリテラシー

紙教材

学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NSA02L
期間	1日		
コース概要	信頼される安全な情報管理やサービス提供の実現に向けて必要となる情報セキュリティ分野の基本知識について、組織の一員としてのリスクをベースにしながら体系的に講義と演習を通じて学習します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人から組織までの情報セキュリティを取り巻くリスクの現状を確認し、対策の必要性および重要性を理解する。 2. 日常業務で一般的に必要な情報セキュリティ対策に体系的に取り組む上で基本となる、用語の定義やその対策の進め方について把握する。 3. 組織の情報セキュリティ製品・サービス群の全体像と分類構成を認識する。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	<p>第1章 情報セキュリティの重要性をしっかりと理解しよう！</p> <p>【演習】自分自身の情報セキュリティリスクを考えてみよう！</p> <p>【演習】企業・組織の情報セキュリティリスクを考えてみよう！</p> <p>【演習】普段の情報セキュリティ対策活動を振り返ってみよう</p>	<p>第2章 これからの立場と情報セキュリティの関係を考えよう！</p> <p>【演習】普段の生活で見直すべき行動を振り返ろう！</p> <p>【演習】標的型攻撃の振る舞いをみてみよう！</p> <p>第3章 日頃から情報セキュリティ対策を意識しよう！</p> <p>【演習】基本！パスワードを設計してみよう！</p> <p>【演習】どのようなソリューションがあるか調べてみよう！</p>
注意事項	本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NSA01L」でお申し込みください。		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

NEW		【ライブ】 新入社員のための情報セキュリティリテラシー		ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NSA01R	
期間	1日			
コース概要	信頼される安全な情報管理やサービス提供の実現に向けて必要となる情報セキュリティ分野の基本知識について、組織の一員としてのリスクをベースにしながら体系的に講義と演習を通じて学習します。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人から組織までの情報セキュリティを取り巻くリスクの現状を確認し、対策の必要性および重要性を理解する。 2. 日常業務で一般的に必要な情報セキュリティ対策に体系的に取り組む上で基本となる、用語の定義やその対策の進め方について把握する。 3. 組織の情報セキュリティ製品・サービス群の全体像と分類構成を認識する。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	<p>第1章 情報セキュリティの重要性をしっかりと理解しよう！</p> <p>【演習】自分自身の情報セキュリティリスクを考えてみよう！</p> <p>【演習】企業・組織の情報セキュリティリスクを考えてみよう！</p> <p>【演習】普段の情報セキュリティ対策活動を振り返ってみよう</p>	<p>第2章 これからの立場と情報セキュリティの関係を考えよう！</p> <p>【演習】普段の生活で見直すべき行動を振り返ろう！</p> <p>【演習】標的型攻撃の振る舞いをみてみよう！</p> <p>第3章 日頃から情報セキュリティ対策を意識しよう！</p> <p>【演習】基本！パスワードを設計してみよう！</p> <p>【演習】どのようなソリューションがあるか調べてみよう！</p>	
注意事項	本コースは全教材において、電子教材を使用します。紙教材は使用しません。			

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのロジック研修～アルゴリズム編～				電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NBI02L	
期間	2日			
コース概要	基本アルゴリズムを講義と演習をとおして学習します。標準的なアルゴリズムのパターンを理解し、フローチャート作成やトレースの演習によって、応用問題を自分で解き、適確に論理展開できる力を習得します。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プログラミングに必要な論理的思考力を身につける。 2. 基本的なアルゴリズム(集計・探索・整列など)を理解できる。 3. 誰にでもわかりやすいフローチャートを作成できる。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 アルゴリズムとは 第2章 アルゴリズムの基本	第3章 集計 第4章 探索(サーチ)	
	2日目	第5章 整列(ソート)	第6章 マッチング 第7章 グループトータル (コントロールブレイク) 第8章 文字列操作	
注意事項	本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NBI14L」でお申し込みください。			

新入社員のためのロジック研修～アルゴリズム編～				紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NBI14L	
期間	2日			
コース概要	基本アルゴリズムを講義と演習をとおして学習します。標準的なアルゴリズムのパターンを理解し、フローチャート作成やトレースの演習によって、応用問題を自分で解き、適確に論理展開できる力を習得します。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プログラミングに必要な論理的思考力を身につける。 2. 基本的なアルゴリズム(集計・探索・整列など)を理解できる。 3. 誰にでもわかりやすいフローチャートを作成できる。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 アルゴリズムとは 第2章 アルゴリズムの基本	第3章 集計 第4章 探索(サーチ)	
	2日目	第5章 整列(ソート)	第6章 マッチング 第7章 グループトータル (コントロールブレイク) 第8章 文字列操作	
注意事項	本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NBI02L」でお申し込みください。			

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

NEW		【ライブ】 新入社員のためのロジック研修～アルゴリズム編～		ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NBI02R	
期間	2日			
コース概要	基本アルゴリズムを講義と演習をとおして学習します。標準的なアルゴリズムのパターンを理解し、フローチャート作成やトレースの演習によって、応用問題を自分で解き、適確に論理展開できる力を習得します。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プログラミングに必要な論理的思考力を身につける。 2. 基本的なアルゴリズム(集計・探索・整列など)を理解できる。 3. 誰にでもわかりやすいフローチャートを作成できる。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 アルゴリズムとは 第2章 アルゴリズムの基本	第3章 集計 第4章 探索(サーチ)	
	2日目	第5章 整列(ソート)	第6章 マッチング 第7章 グループトータル (コントロールブレイク) 第8章 文字列操作	
注意事項	<p>本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。集合での受講は、紙教材コースコード「NBI14L」、または電子教材コースコード「NBI02L」でお申し込みください。</p> <p>本コースは全教材において、電子教材を使用します。紙教材は使用しません。</p>			

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

NEW		【新版】 ロジック研修(Java)～ロジック構築力徹底トレーニング		電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL72L	
期間	13日			
コース概要	UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. オブジェクト指向プログラミングを理解し、実装できる。 4. UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる。 			
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NUL73L」でお申し込みください。</p>			

NEW		【新版】 ロジック研修(Java)～ロジック構築力徹底トレーニング		紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL73L	
期間	13日			
コース概要	UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. オブジェクト指向プログラミングを理解し、実装できる。 4. UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる。 			
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NUL72L」でお申し込みください。</p>			

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

NEW		【ライブ】【新版】ロジック研修(Java)～ロジック構築力徹底トレーニング		ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NUL72R	
期間	13日			
コース概要	UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. オブジェクト指向プログラミングを理解し、実装できる。 4. UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる。 			
注意事項	<p>本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。集合でのご受講は、紙教材コースコード「NUL73L」、または電子教材コースコード「NUL72L」でお申し込みください。</p> <p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは全教材において、電子教材を使用します。紙教材は使用しません。</p>			

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのロジック研修 (VB.NET)～ロジック構築力徹底トレーニング			電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL52L
期間	13日		
コース概要	UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. オブジェクト指向プログラミングを理解し、実装できる。 4. UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	<アルゴリズム> 第1章 アルゴリズムとは 第2章 アルゴリズムの基本
	2日目	第3章 集計 第4章 探索(サーチ)	第4章 探索(サーチ)(つづき) 第5章 整列(ソート)
	3日目	第6章 マッチング 第7章 グループトータル (コントロールブレイク) 第8章 文字列操作	<VB.NETプログラミング基礎> 第1章 VB.NETを使ってどのようなことができるのか
	4日目	第2章 VBの基本文法1～まずは覚えよう VB.NETの基礎の基礎～ 第3章 VBの基本文法2～使いこなそう プログラムを制御する方法～	第3章 VBの基本文法2～使いこなそう プログラムを制御する方法～(つづき) 第4章 VBの基本文法3～作って呼び出そう 便利なプロシージャ～
	5日目	第5章 バグを取り除こう 第6章 オブジェクト指向プログラミングを 始めよう～クラスの定義からイン スタンス生成～	第6章 オブジェクト指向プログラミングを 始めよう～クラスの定義からイン スタンス生成～(つづき)
	6日目	第7章 継承～あるものを利用しよう～	
	7日目	第8章 例外処理を行おう	第9章 UMLで表現しよう
	8日目	総合演習	
	9日目	プログラム開発の流れ レビュー基礎 オブジェクト指向トレーニングラリー	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)
	10日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)	
	11日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)	
	12日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき) 成果物の納品	
13日目	終了時のスキルレベル測定 ロジック研修まとめ	振り返り会	
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NUL53L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのロジック研修 (VB.NET)～ロジック構築力徹底トレーニング			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL53L
期間	13日		
コース概要	UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. オブジェクト指向プログラミングを理解し、実装できる。 4. UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	<アルゴリズム> 第1章 アルゴリズムとは 第2章 アルゴリズムの基本
	2日目	第3章 集計 第4章 探索(サーチ)	第4章 探索(サーチ)(つづき) 第5章 整列(ソート)
	3日目	第6章 マッチング 第7章 グループトータル (コントロールブレイク) 第8章 文字列操作	<VB.NETプログラミング基礎> 第1章 VB.NETを使ってどのようなことができるのか
	4日目	第2章 VBの基本文法1～まずは覚えよう VB.NETの基礎の基礎～ 第3章 VBの基本文法2～使いこなそう プログラムを制御する方法～	第3章 VBの基本文法2～使いこなそう プログラムを制御する方法～(つづき) 第4章 VBの基本文法3～作って呼び出そう 便利なプロシージャ～
	5日目	第5章 バグを取り除こう 第6章 オブジェクト指向プログラミングを 始めよう～クラスの定義からイン スタンス生成～	第6章 オブジェクト指向プログラミングを 始めよう～クラスの定義からイン スタンス生成～(つづき)
	6日目	第7章 継承～あるものを利用しよう～	
	7日目	第8章 例外処理を行おう	第9章 UMLで表現しよう
	8日目	総合演習	
	9日目	プログラム開発の流れ レビュー基礎 オブジェクト指向トレーニングラリー	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)
	10日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)	
	11日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)	
	12日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき) 成果物の納品	
13日目	終了時のスキルレベル測定 ロジック研修まとめ	振り返り会	
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NUL53L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのロジック研修(C#)～ロジック構築力徹底トレーニング			電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL58L
期間	13日		
コース概要	UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. オブジェクト指向プログラミングを理解し、実装できる。 4. UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	<アルゴリズム> 第1章 アルゴリズムとは 第2章 アルゴリズムの基本
	2日目	第3章 集計 第4章 探索(サーチ)	第4章 探索(サーチ)(つづき) 第5章 整列(ソート)
	3日目	第6章 マッチング 第7章 グループトータル (コントロールブレイク) 第8章 文字列操作	<C#プログラミング基礎> 第1章 C#を使ってどのようなことができるのか
	4日目	第2章 C#の基本文法1～まずは覚えよう C#の基礎の基礎～ 第3章 C#の基本文法2～使いこなそうプログラムを制御する方法～	第3章 C#の基本文法2～使いこなそうプログラムを制御する方法～(つづき) 第4章 C#の基本文法3～作って呼び出す便利なメソッド～
	5日目	第5章 バグを取り除こう 第6章 オブジェクト指向プログラミングを始めよう～クラスの定義からインスタンス生成～	第6章 オブジェクト指向プログラミングを始めよう～クラスの定義からインスタンス生成～(つづき)
	6日目	第7章 継承～あるものを利用しよう～	
	7日目	第8章 例外処理を行おう	第9章 UMLで表現しよう
	8日目	総合演習	
	9日目	プログラム開発の流れ レビュー基礎 オブジェクト指向トレーニングラリー	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)
	10日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)	
	11日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)	
	12日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき) 成果物の納品	
13日目	終了時のスキルレベル測定 ロジック研修まとめ	振り返り会	
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NUL59L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのロジック研修(C#)～ロジック構築力徹底トレーニング			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL59L
期間	13日		
コース概要	UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. オブジェクト指向プログラミングを理解し、実装できる。 4. UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	<アルゴリズム> 第1章 アルゴリズムとは 第2章 アルゴリズムの基本
	2日目	第3章 集計 第4章 探索(サーチ)	第4章 探索(サーチ)(つづき) 第5章 整列(ソート)
	3日目	第6章 マッチング 第7章 グループトータル (コントロールブレイク) 第8章 文字列操作	<C#プログラミング基礎> 第1章 C#を使ってどのようなことができるのか
	4日目	第2章 C#の基本文法1～まずは覚えよう C#の基礎の基礎～ 第3章 C#の基本文法2～使いこなそうプログラムを制御する方法～	第3章 C#の基本文法2～使いこなそうプログラムを制御する方法～(つづき) 第4章 C#の基本文法3～作って呼び出す便利なメソッド～
	5日目	第5章 バグを取り除こう 第6章 オブジェクト指向プログラミングを始めよう～クラスの定義からインスタンス生成～	第6章 オブジェクト指向プログラミングを始めよう～クラスの定義からインスタンス生成～(つづき)
	6日目	第7章 継承～あるものを利用しよう～	
	7日目	第8章 例外処理を行おう	第9章 UMLで表現しよう
	8日目	総合演習	
	9日目	プログラム開発の流れ レビュー基礎 オブジェクト指向トレーニングラリー	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)
	10日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)	
	11日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)	
	12日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき) 成果物の納品	
13日目	終了時のスキルレベル測定 ロジック研修まとめ	振り返り会	
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NUL58L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

NEW		【ライブ】 新入社員のためのロジック研修(C#)～ロジック構築力徹底トレーニング		ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NUL58R	
期間	13日			
コース概要	UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. オブジェクト指向プログラミングを理解し、実装できる。 4. UMLに準拠したクラス図、シーケンス図を基にプログラムを実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	<アルゴリズム> 第1章 アルゴリズムとは 第2章 アルゴリズムの基本	
	2日目	第3章 集計 第4章 探索(サーチ)	第4章 探索(サーチ)(つづき) 第5章 整列(ソート)	
	3日目	第6章 マッチング 第7章 グループトータル (コントロールブレイク) 第8章 文字列操作	<C#プログラミング基礎> 第1章 C#を使ってどのようなことができるのか	
	4日目	第2章 C#の基本文法1 ~まずは覚えよう C#の基礎の基礎~ 第3章 C#の基本文法2 ~使いこなそうプログラムを制御する方法~	第3章 C#の基本文法2 ~使いこなそうプログラムを制御する方法~(つづき) 第4章 C#の基本文法3 ~作って呼び出す便利なメソッド~	
	5日目	第5章 バグを取り除こう 第6章 オブジェクト指向プログラミングを始めよう ~クラスの定義からインスタンス生成~	第6章 オブジェクト指向プログラミングを始めよう ~クラスの定義からインスタンス生成~(つづき)	
	6日目	第7章 継承 ~あるものを利用しよう~		
	7日目	第8章 例外処理を行おう	第9章 UMLで表現しよう	
	8日目	総合演習		
	9日目	プログラム開発の流れ レビュー基礎 オブジェクト指向トレーニングラリー	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)	
	10日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)		
	11日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき)		
	12日目	オブジェクト指向トレーニングラリー(つづき) 成果物の納品		
13日目	終了時のスキルレベル測定 ロジック研修まとめ	振り返り会		
注意事項	<p>コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。集合でのご受講は、紙教材コースコード「NUL59L」、または電子教材コースコード「NUL58L」でお申し込みください。</p> <p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは全教材において、電子教材を使用します。紙教材は使用しません。</p>			

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのロジック研修(C言語)～ロジック構築力徹底トレーニング			電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL54L
期間	13日		
コース概要	フローチャートからプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. フローチャートからプログラムを実装できる。 4. 関数、ポインタ、構造体を理解し、実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	<アルゴリズム> 第1章 アルゴリズムとは 第2章 アルゴリズムの基本
	2日目	第3章 集計 第4章 探索(サーチ)	第4章 探索(サーチ)(つづき) 第5章 整列(ソート)
	3日目	第6章 マッチング 第7章 グループトータル (コントロールブレイク) 第8章 文字列操作	<C言語プログラミング基礎> 第1章 C言語の概要 第2章 変数 第3章 式と演算子
	4日目	第4章 制御構文	第5章 配列と構造体
	5日目	第5章 配列と構造体(つづき) 第6章 関数	第6章 関数 第6章関数(つづき)
	6日目	第7章 ポインタ	
	7日目	第8章 ファイル入出力	第8章 ファイル入出力(つづき) 第9章 ソースファイル分割
	8日目	プログラム開発の流れ レビュー基礎 ロジック構築ラリー	ロジック構築ラリー(つづき)
	9日目	ロジック構築ラリー(つづき)	
	10日目	ロジック構築ラリー(つづき)	
	11日目	ロジック構築ラリー(つづき)	
	12日目	ロジック構築ラリー(つづき) 成果物の納品	
	13日目	終了時のスキルレベル測定 ロジック研修まとめ	振り返り会
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NUL55L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのロジック研修(C言語)～ロジック構築力徹底トレーニング			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL55L
期間	13日		
コース概要	フローチャートからプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. フローチャートからプログラムを実装できる。 4. 関数、ポインタ、構造体を理解し、実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	<アルゴリズム> 第1章 アルゴリズムとは 第2章 アルゴリズムの基本
	2日目	第3章 集計 第4章 探索(サーチ)	第4章 探索(サーチ)(つづき) 第5章 整列(ソート)
	3日目	第6章 マッチング 第7章 グループトータル (コントロールブレイク) 第8章 文字列操作	<C言語プログラミング基礎> 第1章 C言語の概要 第2章 変数 第3章 式と演算子
	4日目	第4章 制御構文	第5章 配列と構造体
	5日目	第5章 配列と構造体(つづき) 第6章 関数	第6章 関数 第6章関数(つづき)
	6日目	第7章 ポインタ	
	7日目	第8章 ファイル入出力	第8章 ファイル入出力(つづき) 第9章 ソースファイル分割
	8日目	プログラム開発の流れ レビュー基礎 ロジック構築ラリー	ロジック構築ラリー(つづき)
	9日目	ロジック構築ラリー(つづき)	
	10日目	ロジック構築ラリー(つづき)	
	11日目	ロジック構築ラリー(つづき)	
	12日目	ロジック構築ラリー(つづき) 成果物の納品	
	13日目	終了時のスキルレベル測定 ロジック研修まとめ	振り返り会
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NUL54L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのロジック研修(COBOL)～ロジック構築力徹底トレーニング			電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL56L
期間	13日		
コース概要	フローチャートからプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. フローチャートからプログラムを実装できる。 4. コントロールブレイク処理、表操作、マッチング処理を理解し、実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	<アルゴリズム> 第1章 アルゴリズムとは 第2章 アルゴリズムの基本
	2日目	第3章 集計 第4章 探索(サーチ)	第4章 探索(サーチ)(つづき) 第5章 整列(ソート)
	3日目	第6章 マッチング 第7章 グループトータル (コントロールブレイク) 第8章 文字列操作	<COBOLプログラム(基礎編)> 第1章 COBOLの概要 第3章 ファイルコピー
	4日目	第3章 ファイルコピー(つづき)	第4章 計算のプログラム 第5章 印刷のプログラム
	5日目	第5章 印刷のプログラム(つづき)	<COBOLプログラム(応用編)> 第2章 コントロールブレイク処理
	6日目	第2章 コントロールブレイク処理(つづき)	第3章 表操作
	7日目	第3章 表操作(つづき) 第4章 マッチング処理	第4章 マッチング処理(つづき)
	8日目	プログラム開発の流れ レビュー基礎 ロジック構築ララー	ロジック構築ララー(つづき)
	9日目	ロジック構築ララー(つづき)	
	10日目	ロジック構築ララー(つづき)	
	11日目	ロジック構築ララー(つづき)	
	12日目	ロジック構築ララー(つづき) 成果物の納品	
	13日目	終了時のスキルレベル測定 ロジック研修まとめ	振り返り会
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NUL57L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのロジック研修(COBOL)～ロジック構築力徹底トレーニング			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL57L
期間	13日		
コース概要	フローチャートからプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを習得します。また、個人のレベルに応じた課題作成とレビューの反復により、技術力と社会人としての自主的な行動力を強化します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なアルゴリズムを作成できる。 2. 基本文法を理解し、実装できる。 3. フローチャートからプログラムを実装できる。 4. コントロールブレイク処理、表操作、マッチング処理を理解し、実装できる。 5. プログラム開発の手順を実践できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	<アルゴリズム> 第1章 アルゴリズムとは 第2章 アルゴリズムの基本
	2日目	第3章 集計 第4章 探索(サーチ)	第4章 探索(サーチ)(つづき) 第5章 整列(ソート)
	3日目	第6章 マッチング 第7章 グループトータル (コントロールブレイク) 第8章 文字列操作	<COBOLプログラム(基礎編)> 第1章 COBOLの概要 第3章 ファイルコピー
	4日目	第3章 ファイルコピー(つづき)	第4章 計算のプログラム 第5章 印刷のプログラム
	5日目	第5章 印刷のプログラム(つづき)	<COBOLプログラム(応用編)> 第2章コントロールブレイク処理
	6日目	第2章 コントロールブレイク処理(つづき)	第3章 表操作
	7日目	第3章 表操作(つづき) 第4章 マッチング処理	第4章 マッチング処理(つづき)
	8日目	プログラム開発の流れ レビュー基礎 ロジック構築ラリー	ロジック構築ラリー(つづき)
	9日目	ロジック構築ラリー(つづき)	
	10日目	ロジック構築ラリー(つづき)	
	11日目	ロジック構築ラリー(つづき)	
	12日目	ロジック構築ラリー(つづき) 成果物の納品	
13日目	終了時のスキルレベル測定 ロジック研修まとめ	振り返り会	
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NUL56L」でお申し込みください</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

NEW		【新版】システム研修(Java)～システム開発プロジェクト疑似体験		電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL74L	
期間	16日			
コース概要	Webアプリケーション開発に必要な、要素技術と設計アーキテクチャーを習得します。また、品質・コスト・納期・チームワークを意識したオブジェクト指向開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動に必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オブジェクト指向によるシステム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 2. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 3. システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。 4. JDBCを使用したデータベースアクセスができる。 5. サーブレット/JSPによるWebアプリケーションの作成ができる。 			
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NUL75L」でお申し込みください。</p>			

NEW		【新版】システム研修(Java)～システム開発プロジェクト疑似体験		紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL75L	
期間	16日			
コース概要	Webアプリケーション開発に必要な、要素技術と設計アーキテクチャーを習得します。また、品質・コスト・納期・チームワークを意識したオブジェクト指向開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動に必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オブジェクト指向によるシステム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 2. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 3. システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。 4. JDBCを使用したデータベースアクセスができる。 5. サーブレット/JSPによるWebアプリケーションの作成ができる。 			
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NUL74L」でお申し込みください。</p>			

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

NEW		【ライブ】【新版】システム研修(Java)～システム開発プロジェクト疑似体験		ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NUL74R	
期間	16日			
コース概要	Webアプリケーション開発に必要な、要素技術と設計アーキテクチャーを習得します。また、品質・コスト・納期・チームワークを意識したオブジェクト指向開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動で必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オブジェクト指向によるシステム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 2. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 3. システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。 4. JDBCを使用したデータベースアクセスができる。 5. サーブレット/JSPによるWebアプリケーションの作成ができる。 			
注意事項	<p>本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。集合でのご受講は、紙教材コースコード「NUL75L」、または電子教材コースコード「NUL74L」でお申し込みください。</p> <p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは全教材において、電子教材を使用します。紙教材は使用しません。</p>			

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのシステム研修(VB.NET)～システム開発プロジェクト疑似体験			電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL62L
期間	16日		
コース概要	Webアプリケーション開発に必要な、要素技術と設計アーキテクチャーを習得します。また、品質・コスト・納期・チームワークを意識したオブジェクト指向開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動で必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オブジェクト指向によるシステム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 2. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 3. システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。 4. ADO.NETを利用してデータベース連携アプリケーションの作成ができる。 5. Visual StudioによるWebアプリケーションの作成ができる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	システム開発の流れ システム要求の確認 ＜要素技術＞ 第1章 システム開発に必要な作業 第2章 大切なデータを管理する方法
	2日目	第3章 Webシステムの仕組み 第4章 VB.NETのWebアプリケーションって何	第4章 VB.NETのWebアプリケーションって何 (つづき)
	3日目	第4章 VB.NETのWebアプリケーションって何 (つづき) 第5章 ASP.NET Webアプリケーション	第5章 ASP.NET Webアプリケーションから データベースを使おう(つづき)
	4日目	第5章 ASP.NET Webアプリケーションからデータベースを使おう(つづき)	
	5日目	第6章 ASP.NET Webアプリケーションの設計	第7章 ASP.NET Webアプリケーションの テスト 第8章 ソフトウェア構成管理
	6日目	プロトタイプ作成演習	
	7日目	プロトタイプ作成演習(つづき)	プロジェクト発足 システム要求の再確認 提供ドキュメントの確認
	8日目 ～ 14日目	システム開発 －顧客へのヒアリング －プロジェクト計画 －要求分析 －仕様分析 －方式設計 －詳細設計 －実装 －結合テスト －システムテスト	
	15日目	納品準備 システム納品 終了時のスキルレベル測定	プロジェクトまとめ システム研修振り返り 成果発表会準備
	16日目	成果発表会準備(つづき)	成果発表会
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NUL63L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのシステム研修(VB.NET)～システム開発プロジェクト疑似体験			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL63L
期間	16日		
コース概要	Webアプリケーション開発に必要な、要素技術と設計アーキテクチャーを習得します。また、品質・コスト・納期・チームワークを意識したオブジェクト指向開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動で必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オブジェクト指向によるシステム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 2. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 3. システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。 4. ADO.NETを利用してデータベース連携アプリケーションの作成ができる。 5. Visual StudioによるWebアプリケーションの作成ができる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	システム開発の流れ システム要求の確認 ＜要素技術＞ 第1章 システム開発に必要な作業 第2章 大切なデータを管理する方法
	2日目	第3章 Webシステムの仕組み 第4章 VB.NETのWebアプリケーションって何	第4章 VB.NETのWebアプリケーションって何 (つづき)
	3日目	第4章 VB.NETのWebアプリケーションって何 (つづき) 第5章 ASP.NET Webアプリケーション	第5章 ASP.NET Webアプリケーションから データベースを使おう(つづき)
	4日目	第5章 ASP.NET Webアプリケーションからデータベースを使おう(つづき)	
	5日目	第6章 ASP.NET Webアプリケーションの設計	第7章 ASP.NET Webアプリケーションの テスト 第8章 ソフトウェア構成管理
	6日目	プロトタイピング作成演習	
	7日目	プロトタイピング作成演習(つづき)	プロジェクト発足 システム要求の再確認 提供ドキュメントの確認
	8日目 ～ 14日目	システム開発 －顧客へのヒアリング －プロジェクト計画 －要求分析 －仕様分析 －方式設計 －詳細設計 －実装 －結合テスト －システムテスト	
	15日目	納品準備 システム納品 終了時のスキルレベル測定	プロジェクトまとめ システム研修振り返り 成果発表会準備
16日目	成果発表会準備(つづき)	成果発表会	
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NUL62L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのシステム研修(C#)～システム開発プロジェクト疑似体験			電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL68L
期間	16日		
コース概要	Webアプリケーション開発に必要な、要素技術と設計アーキテクチャーを習得します。また、品質・コスト・納期・チームワークを意識したオブジェクト指向開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動で必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オブジェクト指向によるシステム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 2. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 3. システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。 4. ADO.NETを利用してデータベース連携アプリケーションの作成ができる。 5. Visual StudioによるWebアプリケーションの作成ができる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	システム開発の流れ システム要求の確認 ＜要素技術＞ 第1章 システム開発に必要な作業 第2章 大切なデータを管理する方法
	2日目	第3章 Webシステムの仕組み	第3章 Webシステムの仕組み(つづき) 第4章 ASP.NET MVCアプリケーション
	3日目	第4章 ASP.NET MVCアプリケーション(つづき)	
	4日目	第4章 ASP.NET MVCアプリケーション(つづき)	
	5日目	第4章 ASP.NET MVCアプリケーション (つづき)	第5章 ASP.NET Webアプリケーションの テスト 第6章 ソフトウェア構成管理
	6日目	プロトタイピング作成演習	
	7日目	プロトタイピング作成演習(つづき)	プロジェクト発足 システム要求の再確認 提供ドキュメントの確認
	8日目 ～ 14日目	システム開発 －顧客へのヒアリング －プロジェクト計画 －要求分析 －仕様分析 －方式設計 －詳細設計 －実装 －結合テスト －システムテスト	
	15日目	納品準備 システム納品 終了時のスキルレベル測定	プロジェクトまとめ システム研修振り返り 成果発表会準備
16日目	成果発表会準備(つづき)	成果発表会	
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NUL69L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのシステム研修(C#)～システム開発プロジェクト疑似体験			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL69L
期間	16日		
コース概要	Webアプリケーション開発に必要な、要素技術と設計アーキテクチャーを習得します。また、品質・コスト・納期・チームワークを意識したオブジェクト指向開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動で必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オブジェクト指向によるシステム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 2. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 3. システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。 4. ADO.NETを利用してデータベース連携アプリケーションの作成ができる。 5. Visual StudioによるWebアプリケーションの作成ができる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	システム開発の流れ システム要求の確認 ＜要素技術＞ 第1章 システム開発に必要な作業 第2章 大切なデータを管理する方法
	2日目	第3章 Webシステムの仕組み	第3章 Webシステムの仕組み(つづき) 第4章 ASP.NET MVCアプリケーション
	3日目	第4章 ASP.NET MVCアプリケーション(つづき)	
	4日目	第4章 ASP.NET MVCアプリケーション(つづき)	
	5日目	第4章 ASP.NET MVCアプリケーション (つづき)	第5章 ASP.NET Webアプリケーションの テスト 第6章 ソフトウェア構成管理
	6日目	プロトタイピング作成演習	
	7日目	プロトタイピング作成演習(つづき)	プロジェクト発足 システム要求の再確認 提供ドキュメントの確認
	8日目 ～ 14日目	システム開発 －顧客へのヒアリング －プロジェクト計画 －要求分析 －仕様分析 －方式設計 －詳細設計 －実装 －結合テスト －システムテスト	
	15日目	納品準備 システム納品 終了時のスキルレベル測定	プロジェクトまとめ システム研修振り返り 成果発表会準備
16日目	成果発表会準備(つづき)	成果発表会	
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NUL68L」でお申し込みください</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

NEW		【ライブ】 新入社員のためのシステム研修(C#)～システム開発プロジェクト疑似体験		ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NUL68R	
期間	16日			
コース概要	Webアプリケーション開発に必要な、要素技術と設計アーキテクチャーを習得します。また、品質・コスト・納期・チームワークを意識したオブジェクト指向開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動に必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オブジェクト指向によるシステム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 2. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 3. システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。 4. ADO.NETを利用してデータベース連携アプリケーションの作成ができる。 5. Visual StudioによるWebアプリケーションの作成ができる。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	システム開発の流れ システム要求の確認 ＜要素技術＞ 第1章 システム開発に必要な作業 第2章 大切なデータを管理する方法	
	2日目	第3章 Webシステムの仕組み	第3章 Webシステムの仕組み(つづき) 第4章 ASP.NET MVCアプリケーション	
	3日目	第4章 ASP.NET MVCアプリケーション(つづき)		
	4日目	第4章 ASP.NET MVCアプリケーション(つづき)		
	5日目	第4章 ASP.NET MVCアプリケーション (つづき)	第5章 ASP.NET Webアプリケーションの テスト 第6章 ソフトウェア構成管理	
	6日目	プロトタイピング作成演習		
	7日目	プロトタイピング作成演習(つづき)	プロジェクト発足 システム要求の再確認 提供ドキュメントの確認	
	8日目 ～ 14日目	システム開発 －顧客へのヒアリング －プロジェクト計画 －要求分析 －仕様分析 －方式設計 －詳細設計 －実装 －結合テスト －システムテスト		
	15日目	納品準備 システム納品 終了時のスキルレベル測定	プロジェクトまとめ システム研修振り返り 成果発表会準備	
	16日目	成果発表会準備(つづき)	成果発表会	
注意事項	<p>本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。集合でのご受講は、紙教材コースコード「NUL69L」、または電子教材コースコード「NUL68L」でお申し込みください。</p> <p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは全教材において、電子教材を使用します。紙教材は使用しません。</p>			

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのITプロへの第一歩～最新技術動向とビジネス作法～			電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NBI17L
期間	2日		
コース概要	IT業界のプロフェッショナルとして必要なICT関連の最新技術動向に目を向ける重要性を学び、調べ方の基本を学習します。また、現場業務に臨むにあたって、実践的なロールプレイを用いてビジネススキルの定着度合いを確認します。仕事を行う上で、個人、さらに組織の一員として必要なものは何かを考え、プロフェッショナルを目指すために必要なアクションを検討します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ICT関連の技術動向やキーワードを知ることの重要性を理解できる。 2. ICT関連の技術動向やキーワードを調べられる。 3. 仕事の進め方・マナーを実践できる。 4. 分かりやすいビジネス文書を作成できる。 5. ビジネスシーンで求められるコミュニケーションを実践できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	社会人となった自分を振り返る 【演習】社会人となった自分を振り返る 【演習】実践的ロールプレイ 最新技術導	【演習】実践的ロールプレイ(続き) ビジネスにおけるITシステムの変遷 最新技術を知るためのIT基礎知識 最新技術の調べ方
	2日目	【演習】IT関連の用語を調査する 【演習】実践的ロールプレイ 提案と勉強会の実施	【演習】実践的ロールプレイ(続き) 【演習】ロールプレイを振り返る プロフェッショナルへの第一歩 【演習】アクションプランを作成する
注意事項	本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NBI18L」でお申し込みください。		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のためのITプロへの第一歩～最新技術動向とビジネス作法～			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NBI18L
期間	2日		
コース概要	IT業界のプロフェッショナルとして必要なICT関連の最新技術動向に目を向ける重要性を学び、調べ方の基本を学習します。また、現場業務に臨むにあたって、実践的なロールプレイを用いてビジネススキルの定着度合いを確認します。仕事を行う上で、個人、さらに組織の一員として必要なものは何かを考え、プロフェッショナルを目指すために必要なアクションを検討します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ICT関連の技術動向やキーワードを知ることの重要性を理解できる。 2. ICT関連の技術動向やキーワードを調べられる。 3. 仕事の進め方・マナーを実践できる。 4. 分かりやすいビジネス文書を作成できる。 5. ビジネスシーンで求められるコミュニケーションを実践できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	社会人となった自分を振り返る 【演習】社会人となった自分を振り返る 【演習】実践的ロールプレイ 最新技術導	【演習】実践的ロールプレイ(続き) ビジネスにおけるITシステムの変遷 最新技術を知るためのIT基礎知識 最新技術の調べ方
	2日目	【演習】IT関連の用語を調査する 【演習】実践的ロールプレイ 提案と勉強会の実施	【演習】実践的ロールプレイ(続き) 【演習】ロールプレイを振り返る プロフェッショナルへの第一歩 【演習】アクションプランを作成する
注意事項	本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NBI17L」でお申し込みください		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

NEW		【ライブ】 新入社員のためのITプロへの第一歩～最新技術動向とビジネス作法～		ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NBI17R	
期間	2日			
コース概要	IT業界のプロフェッショナルとして必要なICT関連の最新技術動向に目を向ける重要性を学び、調べ方の基本を学習します。また、現場業務に臨むにあたって、実践的なロールプレイを用いてビジネススキルの定着度合いを確認します。仕事を行う上で、個人、さらに組織の一員として必要なものは何かを考え、プロフェッショナルを目指すために必要なアクションを検討します。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ICT関連の技術動向やキーワードを知ることの重要性を理解できる。 2. ICT関連の技術動向やキーワードを調べられる。 3. 仕事の進め方・マナーを実践できる。 4. 分かりやすいビジネス文書を作成できる。 5. ビジネスシーンで求められるコミュニケーションを実践できる。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	社会人となった自分を振り返る 【演習】社会人となった自分を振り返る 【演習】実践的ロールプレイ 最新技術導	【演習】実践的ロールプレイ(続き) ビジネスにおけるITシステムの変遷 最新技術を知るためのIT基礎知識 最新技術の調べ方	
	2日目	【演習】IT関連の用語を調査する 【演習】実践的ロールプレイ 提案と勉強会の実施	【演習】実践的ロールプレイ(続き) 【演習】ロールプレイを振り返る プロフェッショナルへの第一歩 【演習】アクションプランを作成する	
注意事項	<p>本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。集合でのご受講は、紙教材コースコード「NBI18L」、または電子教材コースコード「NBI17L」でお申し込みください。</p> <p>本コースは全教材において、電子教材を使用します。紙教材は使用しません。</p>			

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

はじめてのアジャイル開発			電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL80L
期間	3日		
コース概要	アジャイル開発について、講義と演習により学習します。準備フェーズでは、プロダクトバックログについて学習し、顧客の要求を整理して理解します。開発フェーズでは、スクラムをベースとしたアジャイル開発プロジェクトを疑似体験し、考え方・進め方を習得します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般的なアジャイル開発の概要を理解する。 2. プロダクトバックログを作成するためのポイントを理解する。 3. スクラムをベースとしたアジャイル開発プロジェクトの考え方・進め方を習得する。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	第1章アジャイル開発の概要 第2章要求の整理	第2章要求の整理(つづき) 第3章スクラムを適用したアジャイル開発の進め方
	2日目	スプリント#1	スプリント#1(つづき) スプリント#2
	3日目	スプリント#2(つづき) スプリント#3	スプリント#3(つづき) ディスカッション
注意事項	本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NUL81L」でお申し込みください。		

はじめてのアジャイル開発			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NUL81L
期間	3日		
コース概要	アジャイル開発について、講義と演習により学習します。準備フェーズでは、プロダクトバックログについて学習し、顧客の要求を整理して理解します。開発フェーズでは、スクラムをベースとしたアジャイル開発プロジェクトを疑似体験し、考え方・進め方を習得します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般的なアジャイル開発の概要を理解する。 2. プロダクトバックログを作成するためのポイントを理解する。 3. スクラムをベースとしたアジャイル開発プロジェクトの考え方・進め方を習得する。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	第1章アジャイル開発の概要 第2章要求の整理	第2章要求の整理(つづき) 第3章スクラムを適用したアジャイル開発の進め方
	2日目	スプリント#1	スプリント#1(つづき) スプリント#2
	3日目	スプリント#2(つづき) スプリント#3	スプリント#3(つづき) ディスカッション
注意事項	本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NUL80L」でお申し込みください。		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～C言語プログラミング～			電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NFE08L
期間	9日		
コース概要	C言語のプログラミング方法について、関数の作成方法や、理解が難しいとされている、ポインタやメモリを重点的に、講義と実習を通じて系統的に順序だてて学習します。実習では、キーボードやディスプレイなどの標準入出力の操作方法から、効率的なデータ処理方法、ダブルポインタやポインタ配列、さらに動的メモリ領域の取り扱いなどについて学習します。また、多人数開発の難しさを理解し、理解しやすいプログラムの作成方法を学習します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. C言語の標準的な機能(関数、ポインタ、構造体)を利用してプログラムを作成できる。 2. 標準入出力命令を使用してプログラムを作成できる。 3. ポインタやメモリ操作など、プログラムで起こしやすい問題点を理解する。 4. 多重ポインタを使用したプログラムを作成できる。 5. malloc()などによる動的メモリを使用したプログラムを作成できる。 6. リストなどのポインタを用いたデータ構造を取り扱うプログラムを作成できる。 7. 関数分割、ファイル分割による、複数人でのプログラミングに応じた、開発作業が行える。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	<C言語プログラミングの基礎> 第1章 C言語の概要 第2章 C言語で扱うデータ	第2章 C言語で扱うデータ(つづき) 第3章 制御文I(条件分岐) 第4章 制御文II(繰り返し)
	2日目	第5章 関数 第6章 配列	第7章 ポインタ
	3日目	第8章 文字列 第9章 構造体	第9章 構造体(つづき) 第10章 マクロ定義とファイルの取り込み 第11章 ファイル入出力
	4日目	<C言語プログラミング(メモリ・ポインタ編)> 第1章 ポインタ・メモリの基礎 第2章 配列とポインタの操作	第2章 配列とポインタの操作(つづき) 第3章 文字列のポインタ操作
	5日目	第3章 文字列のポインタ操作(つづき) 第4章 構造体・共用体のポインタ操作	第5章 動的なメモリ確保 第6章 関数ポインタ
	6日目	<C言語プログラミング(グループ演習)> プロジェクト発足 システム要求の確認 ソフトウェア要求定義	ソフトウェア設計
	7日目	ソフトウェア設計(つづき) 設計レビュー	ソフトウェア実装
	8日目	単体テスト	ソフトウェア結合
	9日目	実装レビュー	ソフトウェア結合テスト 納品 プロジェクトの振り返り
注意事項	<p>3コース(※)をすべてご受講いただくことで、各種評価測定や「個人カルテ」の発行が可能となります。※3コース・・・「C言語プログラミング」(NFE08LまたはNFE09L)、「組み込みプログラミング」(NFE10LまたはNFE11L)、「開発体験」(NFE12LまたはNFE13L)</p> <p>本コースは電子教材を使用します。紙教材での受講は、紙教材コースコード「NFE09L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～C言語プログラミング～			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NFE09L
期間	9日		
コース概要	C言語のプログラミング方法について、関数の作成方法や、理解が難しいとされている、ポインタやメモリを重点的に、講義と実習を通じて系統的に順序だてて学習します。実習では、キーボードやディスプレイなどの標準入出力の操作方法から、効率的なデータ処理方法、ダブルポインタやポインタ配列、さらに動的メモリ領域の取り扱いなどについて学習します。また、多人数開発の難しさを理解し、理解しやすいプログラムの作成方法を学習します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. C言語の標準的な機能(関数、ポインタ、構造体)を利用してプログラムを作成できる。 2. 標準入出力命令を使用してプログラムを作成できる。 3. ポインタやメモリ操作など、プログラムで起こしやすい問題点を理解する。 4. 多重ポインタを使用したプログラムを作成できる。 5. malloc()などによる動的メモリを使用したプログラムを作成できる。 6. リストなどのポインタを用いたデータ構造を取り扱うプログラムを作成できる。 7. 関数分割、ファイル分割による、複数人でのプログラミングに応じた、開発作業が行える。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	<C言語プログラミングの基礎> 第1章 C言語の概要 第2章 C言語で扱うデータ	第2章 C言語で扱うデータ(つづき) 第3章 制御文I(条件分岐) 第4章 制御文II(繰り返し)
	2日目	第5章 関数 第6章 配列	第7章 ポインタ
	3日目	第8章 文字列 第9章 構造体	第9章 構造体(つづき) 第10章 マクロ定義とファイルの取り込み 第11章 ファイル入出力
	4日目	<C言語プログラミング(メモリ・ポインタ編)> 第1章 ポインタ・メモリの基礎 第2章 配列とポインタの操作	第2章 配列とポインタの操作(つづき) 第3章 文字列のポインタ操作
	5日目	第3章 文字列のポインタ操作(つづき) 第4章 構造体・共用体のポインタ操作	第5章 動的なメモリ確保 第6章 関数ポインタ
	6日目	<C言語プログラミング(グループ演習)> プロジェクト発足 システム要求の確認 ソフトウェア要求定義	ソフトウェア設計
	7日目	ソフトウェア設計(つづき) 設計レビュー	ソフトウェア実装
	8日目	単体テスト	ソフトウェア結合
	9日目	実装レビュー	ソフトウェア結合テスト 納品 プロジェクトの振り返り
注意事項	<p>3コース(※)をすべてご受講いただくことで、各種評価測定や「個人カルテ」の発行が可能となります。※3コース・・・「C言語プログラミング」(NFE08LまたはNFE09L)、「組み込みプログラミング」(NFE10LまたはNFE11L)、「開発体験」(NFE12LまたはNFE13L)</p> <p>本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NFE08L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のための組み込みソフトウェア技術研修～組み込みプログラミング～			電子教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NFE10L
期間	10日		
コース概要	組み込みソフトウェア開発で 사용되는マイコンの制御や組み込みOSを使用したプログラミングについて、説明と演習により学習します。実習では、32ビットのCPUコアを搭載したマイコンを題材として、統合開発環境を使用したクロス開発により、組み込み特有のアルゴリズムやさまざまな周辺機能を組み合わせたプログラムを繰り返し作成することによって、プログラム開発力の向上を図ります。また、組み込みOSとして、μITRONを題材として、リアルタイムOSの概要、サービスコールを使用したプログラミング方法を身につけることができます。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. IOポートとタイマーを活用し、LED、スイッチ、ブザー、モーター、センサーなどを操作するプログラムを作成できる。 2. 割り込みの動作原理を理解し、割り込みを処理するプログラムを作成できる。 3. プログラム仕様を元に、モジュール構造設計から単体テストで必要なドキュメントの作成とレビューが行える。 4. リアルタイムOSやμITRONの特徴について理解する。 5. μITRONのサービスコールや機能を使用したプログラムを作成できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	<組み込みC言語プログラミング> 第1章 組み込みソフトウェア開発の流れ 第2章 C言語を用いた処理内容の記述	第2章 C言語を用いた処理内容の記述(つづき) 第3章 C言語プログラムが動作するまでの処理内容
	2日目	第4章 周辺機能を使用したプログラム	第4章 周辺機能を使用したプログラム(つづき) 第5章 割り込みを使用したプログラム
	3日目	第5章 割り込みを使用したプログラム(つづき)	総合演習
	4日目	<組み込みプログラム開発演習> 組み込みとシステム開発 レビューとテスト モジュール分割	トレーニング演習
	5日目 ～ 7日目	開発演習	
	8日目	<リアルタイムOSプログラミング(μITRON編)> 第1章 リアルタイムOSとμITRONの概要	第2章 総合開発環境とリアルタイムOS
	9日目 ～ 10日目	第3章 リアルタイムOSプログラミング	
注意事項	<p>リアルタイムOSは、μITRON4.0を使用します。 本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NFE11L」でお申し込みください。 3コース(※)をすべてご受講いただくことで、各種評価測定や「個人カルテ」の発行が可能となります。※3コース・・・「C言語プログラミング」(NFE08LまたはNFE09L)、「組み込みプログラミング」(NFE10LまたはNFE11L)、「開発体験」(NFE12LまたはNFE13L)</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のための組み込みソフトウェア技術研修～組み込みプログラミング～			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NFE11L
期間	10日		
コース概要	組み込みソフトウェア開発で使用されるマイコンの制御や組み込みOSを使用したプログラミングについて、説明と演習により学習します。実習では、32ビットのCPUコアを搭載したマイコンを題材として、統合開発環境を使用したクロス開発により、組み込み特有のアルゴリズムやさまざまな周辺機能を組み合わせたプログラムを繰り返し作成することによって、プログラム開発力の向上を図ります。また、組み込みOSとして、μITRONを題材として、リアルタイムOSの概要、サービスコールを使用したプログラミング方法を身につけることができます。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. IOポートとタイマーを活用し、LED、スイッチ、ブザー、モーター、センサーなどを操作するプログラムを作成できる。 2. 割り込みの動作原理を理解し、割り込みを処理するプログラムを作成できる。 3. プログラム仕様を元に、モジュール構造設計から単体テストで必要なドキュメントの作成とレビューが行える。 4. リアルタイムOSやμITRONの特徴について理解する。 5. μITRONのサービスコールや機能を使用したプログラムを作成できる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	<組み込みC言語プログラミング> 第1章 組み込みソフトウェア開発の流れ 第2章 C言語を用いた処理内容の記述	第2章 C言語を用いた処理内容の記述(つづき) 第3章 C言語プログラムが動作するまでの処理内容
	2日目	第4章 周辺機能を使用したプログラム	第4章 周辺機能を使用したプログラム(つづき) 第5章 割り込みを使用したプログラム
	3日目	第5章 割り込みを使用したプログラム(つづき)	総合演習
	4日目	<組み込みプログラム開発演習> 組み込みとシステム開発 レビューとテスト モジュール分割	トレーニング演習
	5日目 ～ 7日目	開発演習	
	8日目	<リアルタイムOSプログラミング (μITRON編)> 第1章 リアルタイムOSとμITRONの概要	第2章 総合開発環境とリアルタイムOS
	9日目 ～ 10日目	第3章 リアルタイムOSプログラミング	
注意事項	<p>リアルタイムOSは、μITRON4.0を使用します。</p> <p>本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NFE10L」でお申し込みください。</p> <p>3コース(※)をすべてご受講いただくことで、各種評価測定や「個人カルテ」の発行が可能となります。※3コース・・・「C言語プログラミング」(NFE08LまたはNFE09L)、「組み込みプログラミング」(NFE10LまたはNFE11L)、「開発体験」(NFE12LまたはNFE13L)</p>		

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～開発体験～

電子教材

学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NFE12L
期間	14日		
コース概要	ソフトウェア要求定義からソフトウェア総合テストに至るまでの開発プロセスを説明と演習によって学習します。状態遷移表などによる仕様のモデル化、テスト設計、レビュー技術をとおして、システム開発作業を効果的に習得します。研修後半では、プロジェクト発足からシステム納品までを主体的に行うことにより、組込みソフトウェア開発作業の流れを習得します。実際の開発に必要な、チーム活動における主体的な行動意識や、QCDへの意識、報連相などの基本動作を身につけます。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 要求仕様を状態遷移図、状態遷移表などにモデル化する手法を理解する。 2. 効果的なレビューを実施するための基礎技術を理解する。 3. 組込みソフトウェア開発におけるテストケース設計技術を理解する。 4. 単体/結合テストをホワイトボックス/ブラックボックスの観点からテストする。 5. ソフトウェア開発の一連の作業を自主的に推進できるスキルを習得する。 6. プロジェクトメンバーとして必要な行動様式を定着させる(協調意識、報連相などの基本動作、QCDの意識)。 7. 技術的な課題を自力で解決する技術者マインドを醸成する。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	組込みシステム開発 ソフトウェア開発の基礎	ソフトウェア開発の基礎(つづき) ソフトウェア要求定義 【演習】ソフトウェア要求定義
	2日目	ソフトウェア要求定義 【演習】ソフトウェア要求定義(つづき)	ソフトウェア・アーキテクチャー設計 【演習】ソフトウェア・アーキテクチャー設計
	3日目	ソフトウェア・アーキテクチャー設計 【演習】ソフトウェア・アーキテクチャー設計 (つづき)	ソフトウェア詳細設計 【演習】ソフトウェア詳細設計
	4日目	ソフトウェア詳細設計 【演習】ソフトウェア詳細設計(つづき) ソフトウェア実装 【演習】ソフトウェア実装	テストプロセス 【演習】ソフトウェアテスト
	5日目	オリエンテーション プロジェクト発足	システム要求確認 顧客ヒアリング
	6日目	ソフトウェア要求定義 会議レビュー 顧客レビュー	
	7日目～8日目	ソフトウェア・アーキテクチャー設計 会議レビュー	
	9日目	ソフトウェア詳細設計 会議レビュー	
	10日目～11日目	実装 単体テスト	
	12日目	ソフトウェア結合 ソフトウェア結合テスト ソフトウェア総合テスト	
	13日目	会議レビュー 受入れテスト	システム納品
	14日目	成果発表会準備	成果発表会
	注意事項	<p>本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NFE13L」でお申し込みください。3コース(※)をすべてご受講いただくことで、各種評価測定や「個人カルテ」の発行が可能となります。※3コース・・・「C言語プログラミング」(NFE08LまたはNFE09L)、「組み込みプログラミング」(NFE10LまたはNFE11L)、「開発体験」(NFE12LまたはNFE13L)</p>	

◆ITプロフェッショナル（アプリケーション開発）

新入社員のための組込みソフトウェア技術研修～開発体験～

紙教材

学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NFE13L
期間	14日		
コース概要	ソフトウェア要求定義からソフトウェア総合テストに至るまでの開発プロセスを説明と演習によって学習します。状態遷移表などによる仕様のモデル化、テスト設計、レビュー技術をとおして、システム開発作業を効果的に習得します。研修後半では、プロジェクト発足からシステム納品までを主体的に行うことにより、組込みソフトウェア開発作業の流れを習得します。実際の開発に必要な、チーム活動における主体的な行動意識や、QCDへの意識、報連相などの基本動作を身につけます。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 要求仕様を状態遷移図、状態遷移表などにモデル化する手法を理解する。 2. 効果的なレビューを実施するための基礎技術を理解する。 3. 組込みソフトウェア開発におけるテストケース設計技術を理解する。 4. 単体/結合テストをホワイトボックス/ブラックボックスの観点からテストする。 5. ソフトウェア開発の一連の作業を自主的に推進できるスキルを習得する。 6. プロジェクトメンバーとして必要な行動様式を定着させる(協調意識、報連相などの基本動作、QCDの意識)。 7. 技術的な課題を自力で解決する技術者マインドを醸成する。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	組込みシステム開発 ソフトウェア開発の基礎	ソフトウェア開発の基礎(つづき) ソフトウェア要求定義 【演習】ソフトウェア要求定義
	2日目	ソフトウェア要求定義 【演習】ソフトウェア要求定義(つづき)	ソフトウェア・アーキテクチャー設計 【演習】ソフトウェア・アーキテクチャー設計
	3日目	ソフトウェア・アーキテクチャー設計 【演習】ソフトウェア・アーキテクチャー設計 (つづき)	ソフトウェア詳細設計 【演習】ソフトウェア詳細設計
	4日目	ソフトウェア詳細設計 【演習】ソフトウェア詳細設計(つづき) ソフトウェア実装 【演習】ソフトウェア実装	テストプロセス 【演習】ソフトウェアテスト
	5日目	オリエンテーション プロジェクト発足	システム要求確認 顧客ヒアリング
	6日目	ソフトウェア要求定義 会議レビュー 顧客レビュー	
	7日目～8日目	ソフトウェア・アーキテクチャー設計 会議レビュー	
	9日目	ソフトウェア詳細設計 会議レビュー	
	10日目～11日目	実装 単体テスト	
	12日目	ソフトウェア結合 ソフトウェア結合テスト ソフトウェア総合テスト	
	13日目	会議レビュー 受入れテスト	システム納品
	14日目	成果発表会準備	成果発表会
	注意事項	<p>本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NFE12L」でお申し込みください。</p> <p>3コース(*)をすべてご受講いただくことで、各種評価測定や「個人カルテ」の発行が可能となります。※3コース…「C言語プログラミング」(NFE08LまたはNFE09L)、「組み込みプログラミング」(NFE10LまたはNFE11L)、「開発体験」(NFE12LまたはNFE13L)</p>	

◆ITプロフェッショナル（システム基盤構築）

新入社員のためのシステム基盤構築研修

電子教材

学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NBI15L
期間	16日		
コース概要	システム基盤構築に必要な要素技術(ネットワーク、サーバー管理、Web3階層システム)について学習します。また、システム基盤構築作業の全体的な流れや、基本的な運用管理のポイントも合わせて学習します。研修の後半では、システム基盤の設計から構築までの全体的な流れを体験することにより、システム開発全体におけるシステム基盤構築作業の位置付け、設計、構築概要を理解します。また、品質・コスト・納期を意識した、プロジェクト活動で求められる問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システム基盤構築作業の全体的な流れを説明できる。 2. 顧客要件に対応したシステム基盤のパラメータ設計およびテスト設計ができる。 3. システム基盤の構築作業(構築手順書作成、構築作業)ができる。 4. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 5. システム基盤構築を進めるためのチーム活動と基本動作ができる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	<第1部>システム基盤とは
	2日目	<第2部>ネットワーク管理	<第2部>ネットワーク管理(つづき)
	3日目	<第2部>ネットワーク管理(つづき)	<第3部>サーバー管理
	4日目	<第3部>サーバー管理(つづき)	<第4部>3階層Webシステムの構築
	5日目	<第4部>3階層Webシステムの構築	<第4部>3階層Webシステムの構築(つづき)
	6日目	<第4部>3階層Webシステムの構築(つづき)	<第5部>システム運用管理
	7日目	<第5部>システム運用管理(つづき)	<第6部>システム基盤構築の工程
	8日目	<第6部>システム基盤構築の工程(つづき)	ミニ総合演習
	9日目 ～ 14日目	総合演習(プロジェクト活動)	
	15日目	システム納品	終了時のスキルレベル測定
	16日目	プロジェクトのまとめ振り返り 成果発表会準備	成果発表会
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは電子教材を使用します。紙教材でのご受講は、紙教材コースコード「NBI16L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（システム基盤構築）

新入社員のためのシステム基盤構築研修

紙教材

学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NBI16L
期間	16日		
コース概要	システム基盤構築に必要な要素技術(ネットワーク、サーバー管理、Web3階層システム)について学習します。また、システム基盤構築作業の全体的な流れや、基本的な運用管理のポイントも合わせて学習します。研修の後半では、システム基盤の設計から構築までの全体的な流れを体験することにより、システム開発全体におけるシステム基盤構築作業の位置付け、設計、構築概要を理解します。また、品質・コスト・納期を意識した、プロジェクト活動で求められる問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システム基盤構築作業の全体的な流れを説明できる。 2. 顧客要件に対応したシステム基盤のパラメータ設計およびテスト設計ができる。 3. システム基盤の構築作業(構築手順書作成、構築作業)ができる。 4. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 5. システム基盤構築を進めるためのチーム活動と基本動作ができる。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	<第1部>システム基盤とは
	2日目	<第2部>ネットワーク管理	<第2部>ネットワーク管理(つづき)
	3日目	<第2部>ネットワーク管理(つづき)	<第3部>サーバー管理
	4日目	<第3部>サーバー管理(つづき)	<第4部>3階層Webシステムの構築
	5日目	<第4部>3階層Webシステムの構築	<第4部>3階層Webシステムの構築(つづき)
	6日目	<第4部>3階層Webシステムの構築(つづき)	<第5部>システム運用管理
	7日目	<第5部>システム運用管理(つづき)	<第6部>システム基盤構築の工程
	8日目	<第6部>システム基盤構築の工程(つづき)	ミニ総合演習
	9日目 ～ 14日目	総合演習(プロジェクト活動)	
	15日目	システム納品	終了時のスキルレベル測定
16日目	プロジェクトのまとめ振り返り 成果発表会準備	成果発表会	
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースの教材はすべて紙教材です。電子教材での受講をご希望の方は、電子教材コースコード「NBI15L」でお申し込みください。</p>		

◆ITプロフェッショナル（システム基盤構築）

NEW		【ライブ】 新入社員のためのシステム基盤構築研修		ライブ	
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NBI15R		
期間	16日				
コース概要	システム基盤構築に必要な要素技術(ネットワーク、サーバー管理、Web3階層システム)について学習します。また、システム基盤構築作業の全体的な流れや、基本的な運用管理のポイントも合わせて学習します。研修の後半では、システム基盤の設計から構築までの全体的な流れを体験することにより、システム開発全体におけるシステム基盤構築作業の位置付け、設計、構築概要を理解します。また、品質・コスト・納期を意識した、プロジェクト活動で求められる問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。				
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システム基盤構築作業の全体的な流れを説明できる。 2. 顧客要件に対応したシステム基盤のパラメータ設計およびテスト設計ができる。 3. システム基盤の構築作業(構築手順書作成、構築作業)ができる。 4. 品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 5. システム基盤構築を進めるためのチーム活動と基本動作ができる。 				
タイムテーブル		午前	午後		
	1日目	オリエンテーション 開始時のスキルレベル測定	<第1部>システム基盤とは		
	2日目	<第2部>ネットワーク管理	<第2部>ネットワーク管理(つづき)		
	3日目	<第2部>ネットワーク管理(つづき)	<第3部>サーバー管理		
	4日目	<第3部>サーバー管理(つづき)	<第4部>3階層Webシステムの構築		
	5日目	<第4部>3階層Webシステムの構築	<第4部>3階層Webシステムの構築(つづき)		
	6日目	<第4部>3階層Webシステムの構築(つづき)	<第5部>システム運用管理		
	7日目	<第5部>システム運用管理(つづき)	<第6部>システム基盤構築の工程		
	8日目	<第6部>システム基盤構築の工程(つづき)	ミニ総合演習		
	9日目 ～ 14日目	総合演習(プロジェクト活動)			
	15日目	システム納品	終了時のスキルレベル測定		
16日目	プロジェクトのまとめ振り返り 成果発表会準備	成果発表会			
注意事項	<p>本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。集合でのご受講は、紙教材コースコード「NBI16L」、または電子教材コースコード「NBI15L」でお申し込みください。</p> <p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは全教材において、電子教材を使用します。紙教材は使用しません。</p>				

◆ITプロフェッショナル（ITソリューションセールス）

NEW		新入社員のためのITソリューションセールス研修～IT基礎知識～		紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NBI12L	
期間	2日			
コース概要	ITソリューションセールスとして、必要となる基本的なIT知識を習得します。システム提案に必要なユーザーと同等レベルのシステム関連知識やトレンドキーワード(IoT、AI、VRなど)を学習します。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> お客様に提供するITソリューションの概要を理解する(事例から学ぶ)。 商談活動で必要となる基本的なIT知識・スキルを習得する。 システム開発のプロセスおよび基本的な用語を理解する。 ビジネスプロセスにおけるITソリューションセールスとしての役割を理解する。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 ITソリューションとは 第2章 ITソリューションセールスにITの知識が必要な理由	第3章 ITの基礎技術について知ろう 第4章 情報システムの全体像について知ろう	
	2日目	第4章 情報システムの全体像について知ろう(つづき) 第5章 システム開発について知ろう	第6章 トレンドをおさえよう	
注意事項	<p>本コースは紙教材コースのみです。電子教材コースはありません。 『新入社員専用カリキュラム』のお申込みは、「新入社員研修専用カリキュラム申込書」をご利用ください。お申込要領は新入社員研修サービスサイトのお申込方法をご覧ください。</p>			

NEW		【ライブ】ITソリューションセールス研修～IT基礎知識～		ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NBI12R	
期間	2日			
コース概要	ITソリューションセールスとして、必要となる基本的なIT知識を習得します。システム提案に必要なユーザーと同等レベルのシステム関連知識やトレンドキーワード(IoT、AI、VRなど)を学習します。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> お客様に提供するITソリューションの概要を理解する(事例から学ぶ)。 商談活動で必要となる基本的なIT知識・スキルを習得する。 システム開発のプロセスおよび基本的な用語を理解する。 ビジネスプロセスにおけるITソリューションセールスとしての役割を理解する。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	第1章 ITソリューションとは 第2章 ITソリューションセールスにITの知識が必要な理由	第3章 ITの基礎技術について知ろう 第4章 情報システムの全体像について知ろう	
	2日目	第4章 情報システムの全体像について知ろう(つづき) 第5章 システム開発について知ろう	第6章 トレンドをおさえよう	
注意事項	<p>本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。集合でのご受講は、コースコード「NBI12L」でお申し込みください。 本コースは全教材において、電子教材を使用します。紙教材は使用しません。</p>			

◆ITプロフェッショナル（ITソリューションセールス）

新入社員のためのITソリューションセールス研修～ソリューションプロセスの理解～			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NAR09L
期間	10日		
コース概要	ソリューションビジネスを行ううえで基礎となるプロセスの全体像を理解し、事例を踏まえながら、各プロセスの実行に必要なスキル・知識を習得します。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ソリューションプロセスの全体の流れを理解する。 2. 各プロセスにおけるポイントや留意点を理解する。 3. ソリューションセールスとしてのマインドや立ち居振る舞いを習得する。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 第1章 ITソリューションプロセスの全体の流れを理解する	第1章 ITソリューションプロセスの全体の流れを理解する(つづき) 第2章 リレーション構築のプロセスを理解する
	2日目	第2章 リレーション構築のプロセスを理解する(つづき)	第3章 営業計画のプロセスを理解する
	3日目	第3章 営業計画のプロセスを理解する(つづき)	
	4日目	第4章 商談のプロセスを理解する	
	5日目 ～ 6日目	第4章 商談のプロセスを理解する(つづき)	
	7日目	第5章 提案～クロージングのプロセスを理解する	
	8日目	総合演習	
	9日目	総合演習(つづき)	第6章 契約のプロセスを理解する 第7章 サービス構築のプロセスを理解する 第8章 債権管理のプロセスを理解する
	10日目	第9章 運用のプロセスを理解する	成果発表会
注意事項	<p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは紙教材コースのみです。電子教材コースはありません。</p>		

◆ITプロフェッショナル（ITソリューションセールス）

NEW 【ライブ】新入社員のためのITソリューションセールス研修～ソリューションプロセスの理解～				ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NAR09R	
期間	10日			
コース概要	ソリューションビジネスを行ううえで基礎となるプロセスの全体像を理解し、事例を踏まえながら、各プロセスの実行に必要なスキル・知識を習得します。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ソリューションプロセスの全体の流れを理解する。 2. 各プロセスにおけるポイントや留意点を理解する。 3. ソリューションセールスとしてのマインドや立ち居振る舞いを習得する。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	オリエンテーション 第1章 ITソリューションプロセスの全体の流れを理解する	第1章 ITソリューションプロセスの全体の流れを理解する(つづき) 第2章 リレーション構築のプロセスを理解する	
	2日目	第2章 リレーション構築のプロセスを理解する(つづき)	第3章 営業計画のプロセスを理解する	
	3日目	第3章 営業計画のプロセスを理解する(つづき)		
	4日目	第4章 商談のプロセスを理解する		
	5日目 ～ 6日目	第4章 商談のプロセスを理解する(つづき)		
	7日目	第5章 提案～クロージングのプロセスを理解する		
	8日目	総合演習		
	9日目	総合演習(つづき)	第6章 契約のプロセスを理解する 第7章 サービス構築のプロセスを理解する 第8章 債権管理のプロセスを理解する	
	10日目	第9章 運用のプロセスを理解する	成果発表会	
注意事項	<p>本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。集合でのご受講は、コースコード「NAR09L」でお申し込みください。</p> <p>本コースは「個人カルテ」(スキルレベル測定結果と講師による評価)を発行します。研修終了後、2週間程度で育成ご担当者様宛てに送付します。</p> <p>本コースは全教材において、電子教材を使用します。紙教材は使用しません。</p>			

◆ITプロフェッショナル（ITソリューションセールス）

新入社員のためのITソリューションセールス研修～提案実践～			紙教材
学習形態	講習会(集合教育)	コースコード	NAR08L
期間	5日		
コース概要	講師がお客様・上司役となり、ケース企業への提案活動(アプローチから提案まで)をロールプレイ形式で体験します。1つの事例をとおしてITソリューションプロセスの一連の流れを体験することで、ITソリューションセールスの土台となるIT知識・スキル・マインドを総合的に習得します。また、その中で自分の強み、弱みを認識し、現場配属に備えます。		
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. お客様のニーズを把握し、仮説をたて、最適なITソリューションを提供する流れを体得する。 2. お客様や上司とのコミュニケーション方法を習得する。 3. グループ作業における立ち振る舞いやコミュニケーション方法を習得する。 		
タイムテーブル		午前	午後
	1日目	オリエンテーション 基本講義 演習説明 【演習】一次訪問準備	【演習】一次訪問準備(つづき) 【演習】一次訪問 【演習】提案概要書の作成
	2日目	【演習】二次訪問準備 【演習】二次訪問	【演習】二次訪問(つづき) 【演習】提案概要書の作成
	3日目	【演習】提案概要書の作成(つづき)	【演習】顧客訪問準備 【演習】顧客訪問
	4日目	【演習】顧客役員へのプレゼンテーション準備および追加訪問	
	5日目	【演習】顧客役員へのプレゼンテーション準備	顧客役員へのプレゼンテーション 研修の振り返り
注意事項	本コースは紙教材コースのみです。電子教材コースはありません。		

◆ITプロフェッショナル（ITソリューションセールス）

NEW		【ライブ】 新入社員のためのITソリューションセールス研修～提案実践～		ライブ
学習形態	講習会(ライブ)	コースコード	NAR08R	
期間	5日			
コース概要	講師がお客様・上司役となり、ケース企業への提案活動(アプローチから提案まで)をロールプレイ形式で体験します。1つの事例をとおしてITソリューションプロセスの一連の流れを体験することで、ITソリューションセールスの土台となるIT知識・スキル・マインドを総合的に習得します。また、その中で自分の強み、弱みを認識し、現場配属に備えます。			
到達目標	<p>本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. お客様のニーズを把握し、仮説をたて、最適なITソリューションを提供する流れを体得する。 2. お客様や上司とのコミュニケーション方法を習得する。 3. グループ作業における立ち振る舞いやコミュニケーション方法を習得する。 			
タイムテーブル		午前	午後	
	1日目	オリエンテーション 基本講義 演習説明 【演習】一次訪問準備	【演習】一次訪問準備(つづき) 【演習】一次訪問 【演習】提案概要書の作成	
	2日目	【演習】二次訪問準備 【演習】二次訪問	【演習】二次訪問(つづき) 【演習】提案概要書の作成	
	3日目	【演習】提案概要書の作成(つづき)	【演習】顧客訪問準備 【演習】顧客訪問	
	4日目	【演習】顧客役員へのプレゼンテーション準備および追加訪問		
	5日目	【演習】顧客役員へのプレゼンテーション準備	顧客役員へのプレゼンテーション 研修の振り返り	
注意事項	本コースはオンライン(ライブ配信)です。ご自宅やサテライトオフィスでご受講いただくコースです。集合でのご受講は、コースコード「NAR08L」でお申し込みください。 本コースは全教材において、電子教材を使用します。紙教材は使用しません。			

おすすめコース(内定者向けeラーニング)

～こんなご要望はありませんか？～



文系採用の内定者に、事前にICTの基礎知識を習得させたい。



内定者向けにICTに関するeラーニングコースを多数提供しています。
情報処理試験対策コースもご紹介します。

内定者向けeラーニング(ICT基礎知識)

◆コンピュータシステムの基礎を習得させたい

超入門！コンピュータシステムの
しくみ(eラーニング)
UEL57B

内定者のためのコンピュータ基礎
(ハードウェア・ソフトウェア)
UNT09B

内定者のためのデータベース基礎
UNT10B

内定者のためのネットワーク基礎
UNT11B

内定者のためのサーバ基礎
UNT12B

◆アプリケーション開発の基礎を習得させたい

システム開発基礎(eラーニング)
UEL34B

システム設計基礎(eラーニング)
UEL38B

アルゴリズムとデータ構造の基礎
(eラーニング)
UEL40B

◆プログラミングの基礎を習得させたい

COBOLプログラミング基礎
(eラーニング)
UEL45B

C言語プログラミングの基礎
(eラーニング)
UEL46B

【e講義動画】C言語プログラミング
の基礎
UHD27D

Javaプログラミング基礎 演習付
(eラーニング)
UEL35B

【e講義動画】【Javaプログラマー
早期育成シリーズ】セット クラウド
実習環境付 UCL05D

【e講義動画】
C#プログラミング基礎
UHD08D

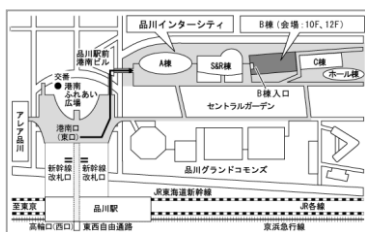
◆情報処理試験対策をさせたい

合格キャンパス【午後】基本情報
技術者試験対策講座(2021年春)
UEC12B

合格キャンパス【午前・午後】基本
情報技術者試験対策講座(2021
年春) UEC06B

■東京地区

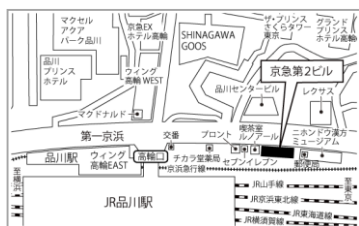
品川ラーニングセンター



東京都港区港南2-15-2 品川インターシティB棟 10階、12階

JR各線、京浜急行線 品川駅港南口(東口)徒歩8分
新幹線 品川駅北口あるいは南口徒歩8分 港南口を出て、2階通路から品川インターシティへお入りください。

京急第2ビル



東京都港区高輪3丁目25番23号 京急第2ビル

JR各線、京浜急行線 品川駅 西口(高輪口) 徒歩3分

東京地区は複数会場ございます。また、コースによって会場が異なります。詳細は決まり次第本ページにてご案内いたします。

■名古屋地区

名古屋ラーニングセンター



愛知県名古屋市中区錦一丁目4番6号 大樹生命名古屋ビル 5階

地下鉄桜通線 丸の内駅 6番出口 徒歩1分
地下鉄鶴舞線 丸の内駅 7番出口 徒歩1分
地下鉄東山線/鶴舞線 伏見駅 1番/10番出口 徒歩6分

■大阪地区

関西ラーニングセンター



大阪府大阪市中央区城見2-1-61
TWIN21MIDタワー 4階、12階、20階

JR東西線 京橋駅 西出口(東西線のホームを経由) 徒歩8分
京阪電鉄 京橋駅 片町口 徒歩8分
地下鉄長堀鶴見緑地線 大阪ビジネスパーク駅 4番出口 徒歩5分

人材育成のための助成金活用のご案内 ~人材開発支援助成金~

人材開発支援助成金とは、労働者の職業能力開発を効果的に促進するため、職業訓練などを段階的かつ体系的に実施する事業主に対して助成される制度です。

この助成金を利用することで、研修費用のほか、受講時間などに対する賃金の助成を受けられる場合があります。

詳しくは、厚生労働省ホームページ ~人材開発支援助成金~ をご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

■申込み・個人情報に関するお問い合わせ

一般社団法人情報サービス産業協会 ICTカレッジ 事務局 電話 03-5289-7651
受付時間:9時~17時(土曜日、日曜日、祝祭日を除く)

■コース内容・会場に関するお問い合わせ

株式会社富士通ラーニングメディア お客様総合センター 電話 0120-55-9019
受付時間:9時~17時30分(土曜日、日曜日、祝祭日を除く)

■JISA ICTカレッジ

https://www.jisa.or.jp/event/ict_college/tabid/156/Default.aspx



Japan Information Technology Services Industry Association

一般社団法人 情報サービス産業協会